

# 2021年度事業報告書

学校法人小池学園

## 目 次

1. 法人の概要	1
I 基本情報	
II 建学の精神	
III 学校法人の沿革	
IV 設置する学校・学科等	
V 学校・学科等の学生数の状況	
VI 収容定員充足率	
VII 役員の概要	
VIII 評議員の概要	
IX 教職員の概要	
X その他（系列校の概要）	
2. 事業の概要	7
○組織体制	
○理事会・評議員会開催状況	
○木曜会	
1 法人	9
I 経営改善計画（5か年計画）の着実な実施	
II 学校法人小池学園のビジョン（中長期計画）実現に向けた取組の推進	
III 中長期財政計画の再構築	
IV 経営基盤の強化	
V 人事計画	
VI 監査体制の強化推進	
VII 小池学園三校の教育連携強化と一体感の醸成	
VIII 規則・規程等の整備	
IX 施設設備	
2 埼玉東萌短期大学	16
I 主な教育・研究の概要	
II 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況	
III その他	
3 武蔵野星城高等学校	25
I 主な教育・研究の概要	
II 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況	
III その他	
4 専門学校東萌ビューティーカレッジ	30
I 主な教育・研究の概要	
II 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況	
III その他	
3. 財務の概要	47
I 決算の概要	
II その他	
III 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対策等	

# 2021年度 事業報告書

学校法人 小池学園

## 1. 法人の概要

### I 基本情報

#### ① 法人の名称

学校法人 小池学園

#### ② 主たる事務所の住所、電話番号、FAX番号、ホームページ等

郵便番号 343-0857  
住 所 埼玉県越谷市新越谷2丁目18番地6  
電話番号 048-987-2345  
FAX番号 048-989-4550  
ホームページ URL <http://www.saitamatoho.jp>  
メー ル [honbu@saitamatoho.jp](mailto:honbu@saitamatoho.jp)

### II 建学の精神

い あい い じん あいをもってひととなす  
以 愛 為 人 (愛を以て人と為す)

建学の精神「以愛為人」(愛を以て人と為す)は、人間が全ての人々、全ての生命あるもの、自然や宇宙、さらには形而上的なものとの関係を取り結ぶときの根源的な光源であるべきものである。人々がこの根源的な光源を忘失し棄却するとき、世界は破壊という高い代償を支払わざるをえなくなる。従って、建学の精神「以愛為人」は、人間の生を司るべき第一原理というべきものを、本学の立場で定式化したものといえることができる。

この建学の精神は、全ての授業科目の学習内容に通底するものである。知識や技能を学ぶということは、何よりも人間的な価値へのさらなる登攀を企図することである。学習の根底には「人間はなぜ学ぶのか」、「学問はなぜ必要なのか」という根源的な問いが常に横たわっており、その問いは人間の尊厳性を究めていくことに通じている。

### Ⅲ 学校法人の沿革

昭和 47(1972)年 12月 20日	埼玉県知事から各種学校の認可を受ける。
昭和 48(1973)年 4月 1日	越谷高等家政学院を開校する。
昭和 51(1976)年 3月 31日	学校教育法第 82 条の 2 による専修学校に認定される。
昭和 51(1976)年 3月 31日	校名を越谷家政専門学校に改称する。
昭和 55(1980)年 4月 1日	埼玉県立浦和通信制高等学校との併修コースを設ける。
昭和 56(1981)年 10月 31日	埼玉県知事から学校法人小池学園の認可を受ける。 小池千代子理事が初代理事長に就任する。
昭和 60(1985)年 3月 11日	文部大臣から技能教育施設の指定を受け、科学技術学園高等学校と技能連携を開始する。
昭和 61(1986)年 3月 1日	文部大臣から大学入学資格付与校に指定される。
昭和 62(1987)年 3月 31日	文部大臣から技能教育施設の指定を受け、埼玉県立大宮中央高等学校と技能連携を開始する。
昭和 62(1987)年 5月 15日	米国ハワイ州立J.B.キャッスル高校と姉妹校連携の調印を行う。
昭和 63(1988)年 4月 1日	専門課程に秘書科を置き、産能短期大学との併修制を取入れる。
平成 4(1992)年 2月 18日	カナダ、ブリティッシュコロンビア州立ノースアイランド大学と姉妹校提携。
平成 5(1993)年 4月 1日	校名を小池学園東萌専門学校に改称する。
平成 6(1994)年 7月 7日	オーストラリア、ロレインマーティンカレッジと姉妹校提携する。
平成 10(1998)年 3月 30日	埼玉県知事から専門学校東萌ビューティーカレッジが専修学校の認可を受ける。
平成 10(1998)年 4月 1日	厚生大臣から専門学校東萌ビューティーカレッジが美容師養成施設の指定を受ける。
平成 10(1998)年 4月 1日	専門学校東萌ビューティーカレッジを開校する。
平成 14(2002)年 3月 13日	私立学校法第 64 条第 6 項の規定により、学校法人小池学園の組織変更が認可される(準学校法人から学校法人に組織変更)。
平成 14(2002)年 3月 13日	埼玉県知事から武蔵野星城高等学校が学校教育法に基づく単位制による通信制(広域)課程の高等学校として認可される。
平成 14(2002)年 4月 1日	武蔵野星城高等学校を開校する。
平成 16(2004)年 3月 15日	埼玉県知事から小池学園東萌専門学校高等課程の廃止が認可される。
平成 16(2004)年 3月 15日	埼玉県知事から小池学園東萌専門学校保育科設置認可を受ける。
平成 16(2004)年 3月 30日	厚生労働大臣から小池学園東萌専門学校保育科が指定保育士養成施設の指定を受ける。
平成 16(2004)年 3月 31日	小池学園東萌専門学校高等課程(経営ビジネス科・ファッション美容科)を廃止する。
平成 17(2005)年 3月 31日	小池学園東萌専門学校専門課程経営ビジネス科・ファッション美容科を廃止する。

平成 17(2005)年 4 月 1 日	校名を小池学園東萌専門学校から東萌保育専門学校に改称する。
平成 22(2010)年 10 月 29 日	文部科学大臣から埼玉東萌短期大学設置認可を受ける。
平成 23(2011)年 1 月 28 日	文部科学大臣から埼玉東萌短期大学幼児保育学科が幼稚園教諭二種免許状の所要資格を取得させるための課程として認定される。
平成 23(2011)年 3 月 29 日	厚生労働大臣から埼玉東萌短期大学幼児保育学科が、指定保育士養成施設の指定を受ける。
平成 23(2011)年 4 月 1 日	埼玉東萌短期大学を開学する。
平成 24(2012)年 3 月 29 日	厚生労働大臣から東萌保育専門学校保育科の指定保育士養成施設の指定の取消しに関する申請が承認される。 取消し年月日 平成24(2012)年3月31日
平成 24(2012)年 3 月 30 日	埼玉県知事より東萌保育専門学校の廃止に関する申請が認可される。
平成 24(2012)年 3 月 31 日	東萌保育専門学校を閉校する。
平成 27(2015)年 2 月 17 日	専門学校東萌ビューティーカレッジが文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定を受ける。
平成 27(2015)年 4 月 1 日	専門学校東萌ビューティーカレッジの衛生専門課程美容科の入学定員を80名から40名に、通信制美容科の入学定員を70名から40名にそれぞれ減員する。
平成 28(2016)年 3 月 10 日	埼玉東萌短期大学が一般財団法人短期大学基準協会による平成27(2015)年度第三者評価で適格の認定を受ける。
平成 28(2016)年 11 月 3 日	学園創設者の小池千代子理事長が平成28(2016)年秋の叙勲において旭日小綬章を受章する。
令和 2(2020)年 9 月 1 日	小池康治理事が第2代理事長に就任する。

#### IV 設置する学校・学科等

2021年5月1日現在

学校名	開学・開校	学部・学科	摘要
埼玉東萌短期大学	平成23(2011)年 4月開学	幼児保育学科	
武蔵野星城高等学校	平成14(2002)年 4月開校	単位制による通信制課程(広域) 普通科	
専門学校 東萌ビューティーカレッジ	平成10(1998)年 4月開校	衛生 専門課程 美容科 通信制美容科	

#### V 学校・学科等の学生数の状況

2021年5月1日現在

学校名		入学 定員数	入学 者数	収容 定員数	現員数		
埼玉東萌短期大学	幼児保育学科	80	78	160	1年	78	
					2年	67	
	計					145	
武蔵野星城高等学校	単位制による 通信制課程 普通科	140	150	420	登校 コース	1年次	139
						2年次	133
						3年次	114
					一般 コース	1年次	17
						2年次	9
						3年次	5
		4年次以降	33				
計					450		
専門学校 東萌ビューティーカレッジ	美容科	40	39	80	1年	39	
					2年	37	
	計					76	
総計					671		

#### VI 収容定員充足率

毎年度5月1日現在

学校名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
埼玉東萌短期大学	98.13%	97.50%	89.38%	86.88%	84.38%	90.63%
武蔵野星城高等学校	103.10%	117.14%	106.90%	110.00%	105.95%	107.14%
専門学校 東萌ビューティーカレッジ	60.83%	82.50%	85.00%	76.25%	85.00%	95.00%

## Ⅶ 役員の概要

定員数 理事7名 監事2名 2022年3月31日現在

区分	氏名	就任年月日	常勤・ 非常勤 の別	業務執行・ 非業務執行 の別	主な現職等
理事長 理事	小池 康 治	2020年9月1日 2008年4月1日	非常勤	業務執行	(学)小池学園法人本部長 (社福)東萌会理事
理 事	小池千代子	1981年10月31日	常 勤	業務執行	(学)小池学園学園長 (社福)東萌会理事長
理 事	駒 田 貞 夫	2010年10月1日	非常勤	非業務執行	
理 事	相 川 富 弘	2021年4月1日	常 勤	業務執行	(学)小池学園法人事務局長
理 事	高 橋 美 枝	2017年4月1日	常 勤	業務執行	(学)小池学園埼玉東萌短期大学学長
理 事	石 田 和 彦	2019年12月12日	非常勤	非業務執行	
理 事	濱 野 紀 生	2021年12月9日	非常勤	非業務執行	
監 事	外 崎 肇 一	2012年4月1日	非常勤	非業務執行	
監 事	小 林 牧 江	2013年4月1日	非常勤	非業務執行	

### 責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

なし

### 役員の人事

2021年4月1日、中澤鐵理事の退任に伴い、相川富弘理事が就任

2021年12月9日、川島健司理事の退任に伴い、濱野紀生理事が就任

## Ⅷ 評議員の概要

定員数 15名 2022年3月31日現在

氏名	就任年月日	主な現職等
栗本浩二	2021年4月1日	(学)小池学園埼玉東萌短期大学学科長
佐野ひとみ	2020年7月15日	(学)小池学園埼玉東萌短期大学学務課長
相川富弘	2015年4月1日	(学)小池学園理事、法人事務局長
塩入達也	2019年12月12日	(学)小池学園法人事務局総務経理課長
稲垣利栄子	2009年4月1日	(学)小池学園武蔵野星城高等学校講師
内田剛史	2009年4月1日	NPO 法人こども支援ホーム代表理事
小池康治	2008年4月1日	(学)小池学園理事長、法人本部長、(社福)東萌会理事
小池千代子	2017年4月1日	(学)小池学園理事、学園長
片野裕嗣	2021年4月1日	(学)小池学園埼玉東萌短期大学庶務課長、図書館課長
駒田貞夫	2009年4月1日	(学)小池学園理事
野呂しのぶ	2010年10月1日	(学)小池学園武蔵野星城高等学校前校長
今井美智子	2010年10月1日	(社福)東萌会理事
大場利良	2021年4月1日	(学)小池学園専門学校東萌ビューティーカレッジ校長
内田一雄	2019年12月12日	(学)小池学園武蔵野星城高等学校校長
井上滋	2020年12月10日	(学)小池学園武蔵野星城高等学校副校長

## Ⅸ 教職員の概要

2021年5月1日現在

区分		本部	埼玉東萌 短期大学	武蔵野星城 高等学校	専門学校東萌 ビューティーカレッジ	計	
教員	本務	人数	—	11	23	3	37
		平均年齢	—	47.7	43.9	47.0	45.2
	兼務	人数	—	16	5	9	30
職員	本務	人数	0	8	6	2	16
		平均年齢	0	40.0	49.5	48.0	44.5
	兼務	人数	3	2	4	0	9

## Ⅹ その他（系列校の状況）

学校法人小池学園が設置する武蔵野星城高等学校、埼玉東萌短期大学、専門学校東萌ビューティーカレッジの各校が持つ教育資源のより一層の有効活用を図ることを目的として、2019年度から教育連携強化を図っている。各校の相互理解を深め、円滑な意思疎通を図る体制を整え、高大連携として、2021年度も武蔵野星城高等学校生徒を対象に、短期大学が保育講座、専門学校が美容講座を開講した。また、高等学校及び専門学校の生徒・学生が、埼玉東萌短期大学附属図書館を有効に活用できるよう図書館案内を配布する等、情報発信の充実や三校会議を通じて学園内施設（グラウンド、体育館、クリエイティブホール、教室等）の貸借による有効活用を図っている。

## 2. 事業の概要

2021年度においても、設置する埼玉東萌短期大学、武蔵野星城高等学校、専門学校東萌ビューティーカレッジの3校を運営した。本学園は、「学校法人小池学園のビジョン(中長期計画)(2019年度改定)」、「中長期財政計画(2020年度改定)」、「経営改善計画(2020年度策定)」を策定しており、全学的な体制のもと確実な中長期計画の取り組みを推進している。

### ○組織体制

組織体制は、理事会を最高意思決定機関として以下のように構築されている。

- ① 理事会（本学園の最高意思決定機関）
- ② 評議員会（本学園の諮問機関）
- ③ 木曜会（理事長の諮問機関）
- ④ 各設置校、法人部門

法人…法人本部長、法人事務局、入試広報部等

短大…学長、教員組織、事務室、センター組織、委員会組織等

高校…校長、教員組織、事務室、委員会組織等

専門…校長、教員組織、事務室、委員会組織等

※これに検討すべき事案の内容ごとに、組織横断的な特別編成委員会、プロジェクトチームを編成していく。

### ○理事会・評議員会の開催状況

2021年度における理事会・評議員会の開催状況は以下のとおりである。

#### (理事会)

開催年月日	主な議事内容
第1回 2021.4.27	1. 任期満了による理事長の選任について 2. 理事長職務代理の順位について 3. 業務執行理事及び役割分担について
第2回 2021.5.20	1. 2020年度決算及び事業の実績並びに監査報告について
第3回 2021.5.20	1. 令和2年度経営改善計画進捗状況について 2. 武蔵野星城高等学校学則の一部変更について 3. 専門学校東萌ビューティーカレッジ学則の一部変更について
第4回 2021.6.24	1. 学校法人小池学園 経営改善計画「令和2年度～令和6年度(5か年)」に係る改善状況報告書及び令和3年度経営改善計画の策定について 2. 学校法人小池学園 埼玉東萌短期大学ガバナンス・コードの制定について
第5回 2021.9.2	1. 学校法人小池学園寄附行為の一部変更について 2. 学校法人小池学園公印取扱規程の一部改正について 3. 令和3年度経営改善計画の進捗状況について 4. 2022年度予算編成方針について

	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 埼玉東萌短期大学学則の一部変更について</li> <li>6. 埼玉東萌短期大学成績優秀者授業料減免規程の一部改正について</li> <li>7. 専門学校東萌ビューティーカレッジ学則の一部変更について</li> <li>8. 武蔵野星城高等学校学習特待生制度の廃止及び入試特待生制度の改正、給付型奨学金制度の新設について</li> </ul>
第6回 2021.12.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 第3号理事(学識経験者)の選任について</li> <li>2. 理事長職務代理の順位について</li> </ul>
第7回 2021.12.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年度経営改善計画の進捗状況について</li> <li>2. 2021年度補正予算について</li> <li>3. 埼玉東萌短期大学学則の一部変更について</li> <li>4. 令和4年度認証評価への取り組みについて</li> <li>5. 経営改善計画の進捗状況に関する調査結果に基づく重点事項等について</li> </ul>
第8回 2022.3.17	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年度経営改善計画進捗状況について</li> <li>2. 規程の一部改正について</li> <li>3. 学校法人小池学園個人情報の保護に関する規程の一部改正について</li> <li>4. 学校法人小池学園創立50周年記念寄付金の募集について</li> <li>5. 2020年度補正予算(案)について</li> <li>6. 2021年度事業計画(案)について</li> <li>7. 2021年度資産運用計画(案)について</li> <li>8. 2021年度予算(案)について</li> <li>9. 埼玉東萌短期大学学生納付金その他納付金等に関する規程の一部改正について</li> <li>10. 埼玉東萌短期大学入学者選抜規程の一部改正について</li> <li>11. 武蔵野星城高等学校スクールミッション及びスクールポリシーの策定について</li> <li>12. 武蔵野星城高等学校ランドデザインの改訂について</li> <li>13. 専門学校東萌ビューティーカレッジ校名変更に伴う学則の一部変更について</li> </ul>
第9回 2022.3.17	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 研究倫理の遵守と研究不正行為の防止に関連する規程の一部改正について</li> </ul>

(評議員会)

開催 年月日	主 な 議 事 内 容
第1回 2021.5.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2020年度決算及び事業の実績並びに監査報告について</li> <li>2. 令和2年度経営改善計画進捗状況について</li> <li>3. 武蔵野星城高等学校学則の一部変更について</li> <li>4. 専門学校東萌ビューティーカレッジ学則の一部変更について</li> </ul>
第2回 2021.6.24	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人小池学園 経営改善計画 令和2年度～令和6年度(5か年)に係る改善状況報告書及び令和3年度経営改善計画の策定について</li> <li>2. 学校法人小池学園 埼玉東萌短期大学ガバナンス・コードの制定について</li> </ul>
第3回 2021.9.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人小池学園寄附行為の一部変更について</li> <li>2. 学校法人小池学園公印取扱規程の一部改正について</li> <li>3. 令和3年度経営改善計画の進捗状況について</li> <li>4. 2022年度予算編成方針について</li> </ul>

	5. 埼玉東萌短期大学学則の一部変更について 6. 埼玉東萌短期大学成績優秀者授業料減免規程の一部改正について 7. 専門学校東萌ビューティーカレッジ学則の一部変更について 8. 武蔵野星城高等学校学習特待生制度の廃止及び入試特待生制度の改正、給付型奨学金制度の新設について
第4回 2021.12.9	1. 令和3年度経営改善計画の進捗状況について 2. 2021年度補正予算について 3. 埼玉東萌短期大学学則の一部変更について 4. 令和4年度認証評価への取り組みについて 5. 経営改善計画の進捗状況に関する調査結果に基づく重点事項等について
第5回 2022.3.17	1. 令和3年度経営改善計画進捗状況について 2. 規程の一部改正について 3. 学校法人小池学園個人情報の保護に関する規程の一部改正について 4. 学校法人小池学園創立50周年記念寄付金の募集について 5. 2020年度補正予算(案)について 6. 2021年度事業計画(案)について 7. 2021年度資産運用計画(案)について 8. 2021年度予算(案)について 9. 埼玉東萌短期大学学生納付金その他納付金等に関する規程の一部改正について 10. 埼玉東萌短期大学入学者選抜規程の一部改正について 11. 武蔵野星城高等学校スクールミッション及びスクールポリシーの策定について 12. 武蔵野星城高等学校ランドデザインの改訂について 13. 専門学校東萌ビューティーカレッジ校名変更に伴う学則の一部変更について

#### ○木曜会

理事長の諮問機関として設置された木曜会は、原則として月1回木曜日に開催され、法人経営及び教学に関する重要な事項を審議することにより、経営、教学両面において学園内コンセンサスの円滑な形成を構築し、もって理事長を補佐する機関である。

木曜会の構成員は、理事長のほか、学園長、法人本部長、法人事務局長、埼玉東萌短期大学学長、武蔵野星城高等学校校長、専門学校東萌ビューティーカレッジ校長、法人本部事務長、理事長が必要と認める者であり、2021年度は12回開催された。

以下、各部門の事業概要を示す。

#### 1. 法人

##### I 経営改善計画（5か年計画）の着実な実施

経営改善計画（2020年度から5か年計画）の着実な実施に向けて、組織的なPDCAサイクルを確立し、学園の最重要課題として以下の課題の計画的な取り組みを推進した。結果、今年度（2年目）も経常収支差額の黒字化等、3年以内に経営指標強化指導に該当しない状況とする目標を達成した。また、2年目で学園全体およびすべての設置校（短期大学、高等学校、専門学校）の経常収支差額黒字化を達成した。

〈 参考 〉 2016年度から2021年度の6か年実績及び2021年度当初予算比較

## 1. 経常収支差額

(単位：千円) ※千円未満四捨五入

	学校法人 小池学園	法 人	短期大学	高等学校	専門学校
2016 年度	△65,166	△22,035	△29,878	5,942	△19,196
2017 年度	△24,176	△22,400	△36,692	49,301	△14,385
2018 年度	△83,192	△23,836	△35,211	△17,279	△6,866
2019 年度	△22,540	△23,644	△37,950	41,394	△2,340
2020 年度	11,018	△23,323	△13,298	42,967	4,672
<b>2021 年度</b>	<b>82,829</b>	<b>△19,906</b>	<b>32,363</b>	<b>55,247</b>	<b>15,124</b>

2021 当初予算	△8,377	△20,940	△8,191	30,233	△6,479
-----------	--------	---------	--------	--------	--------

## 2. 運用資産および外部負債

(単位：千円) ※千円未満四捨五入

	運用資産	外部負債	差引(資産－負債)
2016 年度	389,344	488,166	△98,822
2017 年度	397,427	451,955	△54,528
2018 年度	292,502	460,675	△168,173
2019 年度	294,979	413,526	△118,547
2020 年度	506,660	380,813	125,847
<b>2021 年度</b>	<b>679,631</b>	<b>368,034</b>	<b>311,597</b>

※運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券 ※外部負債＝長期借入金＋短期借入金＋未払金

## 3. 基本金組入前当年度収支差額

(単位：千円) ※千円未満四捨五入

	学校法人 小池学園	法 人	短期大学	高等学校	専門学校
2016 年度	43,835	△22,035	△29,749	114,815	△19,196
2017 年度	△20,354	△22,400	△36,775	53,206	△14,385
2018 年度	△72,196	△23,836	△35,292	△6,201	△6,866
2019 年度	△20,831	△23,644	△37,958	43,118	△2,347
2020 年度	41,421	△23,323	15,727	44,346	4,672
<b>2021 年度</b>	<b>84,310</b>	<b>△19,906</b>	<b>32,363</b>	<b>56,729</b>	<b>15,124</b>

2021 当初予算	△8,183	△23,940	△8,201	30,437	△6,479
-----------	--------	---------	--------	--------	--------

本法人の経営上の成果と課題は以下のとおりであり、それぞれ関連性がある。

(成果) 学校法人全体及びすべての設置校(短期大学、高等学校、専門学校)において経常収支差額の黒字化を達成した。

・学校法人小池学園(法人全体)	82,829千円
・埼玉東萌短期大学(赤字収支から黒字収支へ転換)	32,363千円
・武蔵野星城高等学校	55,247千円
・専門学校東萌ビューティーカレッジ	15,124千円

(成果) 運用資産が増加した。 172,971千円

・運用資産(506,660千円から679,631千円に増加)

(課題) 学生・生徒の入学定員および収容定員の充足は今後も重要課題である。

2022年度も継続して取り組み、健全な財政状態を維持しつつ、未来を見据えた魅力ある教育研究機関として進化を目指す。

- (1) 学生生徒募集において入学定員の安定確保
- (2) 人材育成の強化
- (3) 業務の効率化による組織のスリム化、教職員のスキル向上
- (4) 経費支出の適正化(管理経費の抑制、教育的効果を高める教育研究費支出の増額)
- (5) 中途退学者等の防止対策強化
- (6) 効果的なPDCAサイクル実現のための組織体制の点検
- (7) 教学改革の実現(学科、コース編成、教育内容の充実)に向けての取り組み

## II 学校法人小池学園のビジョン(中長期計画)実現に向けた取り組みの推進

- (1) 学校法人小池学園のビジョン(中長期計画)実現に向けた進捗管理体制の構築  
「学校法人小池学園のビジョン(中長期計画)(2019年度改定)」実現にあたり、徹底した進捗管理を実施している。
- (2) ビジョン実現に向けた活力のある組織への転換  
組織の活性化を図るため適切な人材を積極的に登用し、将来を見据えた人材育成を強化推進している。

## III 中長期財政計画の再構築

- (1) 新たな状況に即した中長期財政計画の再構築  
健全な経営状態を計画的かつ確実に実現するため、中長期財政計画から年度予算、年度事業計画へと体系的に厳格な執行管理を実施した。

## IV 経営基盤の強化

経常収支差額プラス収支の継続、運用資産の増加等、経営基盤を強化した。

- (1) 学生生徒募集における入学定員確保  
2022年度生募集では、すべての設置校で入学定員を充足した。前年度、短期大学、専門学校が入学定員割れであったものの短期大学は入学者数が大きく改善、前年度入学者数78名から85名に増加し入学定員80名を充足した。

また、専門学校も入学者数40名となり入学定員40名を充足した。高等学校の入学者数は150名であり3年連続で入学定員140名を確保という結果であった。今後も継続して安定的に入学定員を確保していくことが課題である。

- (2) 経常的な補助金確保のための全学的な取り組みと点検の実施をした。科学研究費等の競争的資金獲得については応募者がいなかった。
- (3) 学校法人小池学園創立50周年記念寄付金募集事業の創設のため、寄付金募集趣意書、寄付金募集要項等について作成した。2022年度は募集の周知・準備を進め、学園の教育方針や教育内容を広く社会に周知することで、教育研究の質の向上、施設の充実等に向けて多様な支援者に寄付を募る。
- (4) 校舎等の貸出しにより地域貢献を図りつつ収入を得ることができた。
- (5) 各校各部署において予算管理を徹底し、月別予算を強化する。また、支出削減の意識を高め、効率的な経費支出及び削減を実現した。
- (6) 財務分析結果を活用し、的確な経営判断に資する報告、提案を行った。

## V 人事計画

### (1) 人件費の適正化

経営改善計画及び中長期計画の遂行を前提に、3年後の2022年度までに人件費比率62.0%以内、5年後の2024年度までに60.7%以内を目標としたが、2020年度は58.1%、2021年度は51.2%となり目標を達成した。

### (2) 人事評価制度

各設置校の教員評価については、各校の実情に応じ適切に実施、組織の活性化と教育の質向上につなげるとともに制度設計の充実を図っている。また、事務職員についても学校法人小池学園事務職員等人事評価制度が導入4年目であり有効性の高い制度として定着している。

### (3) 職業倫理・コンプライアンス意識の醸成

専門家等を講師に招き、全教職員を対象にした研修会の継続的に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各校および部門単位の学内研修に切り替えて実施した。

### (4) 入職時の導入研修等の学内研修の充実及び外部研修プログラムへの参加促進

外部研修プログラムとして埼玉県短期大学協会主催の教職員研修に参加した。また、2021年度は新たに入職した事務職員4名に対し初任者研修を実施した。今後も学内研修に加え、学外団体主催の研修等への参加を積極的に推進する。

### (5) SD活動の一体的な取り組みを推進

#### ア SD（スタッフ・ディベロップメント）委員会

SD（スタッフ・ディベロップメント）委員会によるSD活動は、2021年9月30日に、「教育の質保証のために、今、できることー認証評価についての共通理解ー」をテーマとして、オンラインによる動画の視聴とその内容を踏まえた担当業務への取組について出席者全員による意見発表、質疑応答及び意見交換形式によるSD研修を実施した。

また、2021年9月から2022年3月にかけて「学生・生徒の満足度向上のためにできること」をテーマとして、短期大学、高等学校、専門学校において適宜グループを作成し、テーマの実践に向けて分科会を行った。その後、2022年3月7日に全体会を開催し、各グループからの提案発表、質疑応答及び意見交換形式によるSD研修を実施した。

イ FD委員会等との共催によるFD研究会を2回開催した。

2021年11月18日（木）

「2022年度教育課程の一部改正に伴うゼミ活動の導入と本学教育活動の充実に向けた取組」

2022年3月22日（火）

「本学の強み・弱み分析と学生募集における効果的なプログラムの立案に向けた取組」

ウ 学校教職員のためのコンプライアンス研修

SD委員会、コンプライアンス委員会の共催による研修会を開催する予定であったが、集合形式の研修を取りやめ、ハラスメントに関する研修について資料を配付し各学校及び事務組織においてハラスメント研修を行った。

エ 委員会組織の効率化

学園委員会組織であるコンプライアンス委員会、ハラスメント防止委員会、個人情報保護委員会については規程等の整備を行い、2021年度に統合した新たな委員会組織（コンプライアンス委員会）で活動を行うなど組織の統廃合など積極的に行い、組織変更による業務の効率化、組織のスリム化を進めた。

## VI 監査体制の強化推進

監査計画に基づいた計画的な監査を実施した。監査法人による外部監査、監事による監事監査、内部監査班による内部監査の三様監査体制を取り、積極的な意見交換、監査内容の共有、三者が連携することによってそれぞれの監査の効率性、有用性を高め、ガバナンスの構築及び強化を推進した。

### (1) 独立監査人による監査状況

本法人の独立監査人は、2021年度も、東陽監査法人である。

2020年会計年度決算に係る監査状況は以下のとおりである。

2020年11月2日、11月4日、11月6日、

2021年2月2日～3日、2月8日、

2021年4月1日、4月27日～28日、4月30日

※2021年会計年度決算に係る監査状況は以下のとおりである。

2021年11月1日、11月2日、

2022年2月1日、2月2日、

2022年4月4日、4月21日、4月26日～28日

なお、例年、監事とは監査に関して意見交換を行っている。

## (2) 内部監査の実施

2021年度は8月に1回、3月に1回、内部監査班による定期の業務監査が実施された。

### ア 監査事項

- ① 埼玉東萌短期大学における「ガバナンス・コード」に関する取組み状況の確認を目的に、4項目を監査した。
  - ・ガバナンスに関する規程(規程、要領等)
  - ・「学校法人小池学園 埼玉東萌短期大学 ガバナンス・コード」に関する取組み状況等・ガバナンスに関する資料等
  - ・コンプライアンスに関する規程、資料等
- ② 埼玉東萌短期大学における法令等に基づいた情報公表及び情報公開に関する取組み状況の確認を目的に、5項目を監査した。
  - ・情報公表及び情報公開に関する規程(規程、要領等)
  - ・法令等に基づいた情報公表及び情報公開に関する取組み状況等
  - ・文部科学省及び認証評価機関等の指標や基準に基づく情報公表及び情報公開に関する取組み状況等
  - ・個人情報の保護に関する諸事項
  - ・情報公表及び情報公開に関する資料等

### イ 監査結果

改善のため一部助言が付されたものの、いずれも「適正」との監査結果となった。

8月と3月の監査について、結果報告を踏まえ被監査部門(関係部門)の意見を聴き、内部監査報告書で理事長へ報告した。

## VII 小池学園三校の教育連携強化と一体感の醸成

- (1) 武蔵野星城高等学校と埼玉東萌短期大学、武蔵野星城高等学校と専門学校東萌ビューティーカレッジそれぞれの間で、課題・情報の共有化を図り、有意義な高大・高専連携教育を実現する。
- (2) 武蔵野星城高等学校生徒のための保育講座(埼玉東萌短期大学)を実施した。
- (3) 武蔵野星城高等学校生徒のための美容講座(専門学校東萌ビューティーカレッジ)を実施した。
- (4) 2021年度は3校合同での学園祭が実施できなかった。小池学園3校合同学園祭の実施により学生・生徒の充実感を高め、バラエティに富む内容で本学園設置校の魅力を伝えることで、地域社会への貢献にも寄与できるように取り組む。
- (5) 埼玉東萌短期大学附属図書館を有効に活用できるよう適宜情報発信を行った。
- (6) 2021年度は3校合同での避難訓練を実施した。防災意識を高め、学生、生徒、教職員が一緒に実践的な訓練を行うことができた。
- (7) 三校会議を通じて学園内施設(グラウンド、体育館、クリエイティブホール、教室等)の貸借による有効活用を図る。

## VIII 規則・規程等の整備

私立学校法等の法改正、制度の新設・変更、業務の効率化等に対し、必要に応じた規程の整備を行うとともに、教職員、学生等への周知徹底を図り適切な運営を図った。

2021年度から以下の組織変更を実施した。継続して業務改善に取り組む。

- ・法人事務組織

法人事務局経理課と総務課を総務経理課に統合した。

- ・高校事務組織

武蔵野星城高等学校事務室庶務課と総務課を総務課に統合した。

- ・専門学校事務組織

専門学校東萌ビューティーカレッジ事務室庶務課と総務課を総務課に統合した。

- ・高等教育研究開発センターの廃止と総務経理課への業務の統合

高等教育研究開発センターを廃止し、その業務を法人事務局総務経理課の業務に統合した。

## IX 施設設備

I C T関連の設備整備について、教育的効果を促進する整備計画として優先した。

2022年度以降も教育の質を高めるための整備計画を実施していく。また、新型コロナウイルス感染症対策に必要な設備、備品等についても優先的に整備する。

## 2 埼玉東萌短期大学

### I 主な教育・研究の概要

全学的に、学生確保を重点課題として位置づけ取り組んだ。88名の出願、85名の入学となり、80名の募集定員を達成することができた。2022年4月1日時点での、入学定員充足率は106.3%、収容定員充足率は99.46%である。引き続き、収容定員100%を達成及び安定的な入学定員の充足の取組を進める必要がある。

競合校と比較して、①県内唯一の認定絵本土養成校、②専任教員1人あたりの学生数14.5人の小規模を活かした教育、③特徴的で併用可能な特待生制度、④入学金免除制度、⑤手厚いサポート、⑥5つの保育園を有する関連法人との連携、⑦独自の学修ポートフォリオ「自己実現ノート」、⑧立地、⑨卒業生満足度の高さ、⑩全国平均を上回る「短期大学生調査2019」の結果の優れた点があり、これらの本学の強みを教職員で共有し、「楽しみながら成長し続けられる埼玉東萌短期大学の仕組み」として明確化し、ホームページ、学校案内、オープンキャンパス説明、SNS発信等を行った。さらに、オープンキャンパスにおいて、参加者のニーズに合わせプログラム内容を柔軟に対応し、競合する専門学校との違いを打ち出すことで、出願歩留りを高めることができた。学生募集に係る各種媒体については、費用対効果を含めた検証を行った。

入学試験の面接において、志望理由として認定絵本土の資格がとれる、少人数制、手厚い指導をあげている受験生が多く、本学入学希望者にこれらの点が魅力として感じられている。また、特待生制度利用者の割合が、昨年度45%から今年度49%とさらに向上し、入学実績のない高校からの受験もあり、特待生制度の充実は有効であると考えられる。また、入学金免除制度を利用した出願者が6名確保できた。

学生募集状況は、常に教職員で共有し、新型コロナウイルス感染症の状況が続く中でも、オープンキャンパスの実施回数を増やし、参加者を分散させることで、一人ひとりの参加者に丁寧なたいおうするなど、全学的な取組を進めてきた。2022年度は、資格取得者優遇制度の2段階適用や総合型選抜の試験実施方法の弾力化、内部進学者選抜の実施に取り組んでいく。

2021年度は、学生の学修活動において、感染防止と学生の学修機会を保証の両面に取り組んだ。家計の急変による修学の継続の困難に対しては、様々な制度を学生に周知して、支援を必要とする学生が必要な修学支援制度が利用できるように取り組んだ。これらの取り組みの中で、2021年度の中途退学者は、2年生は入学から卒業まで0名に抑えることができた。1年生は2名退学、2名除籍となった。ゼミ制の導入、学生支援室の設置を行い、一人ひとりの学生の状況に合わせた支援を行っていく。また、就職率、保育士資格の取得率、幼稚園教諭2種免許状の取得率を高い状況で維持することができた。何より、学生が本学の取組を評価し、2021年度卒業生の卒業時調査では、「埼玉東萌短期大学を卒業したことに満足している」の肯定的回答が96%、「埼玉東萌短期大学で学んだことに意義があった」の肯定的回答が96%であった。

さらに、地域貢献の課題についての取り組みでは、新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら可能な取り組みを進め、合計63回の諸活動を実施した。

全学的な課題達成について、教学マネジメント推進会議がリーダーシップをとって教職協働で取り組むことができた。経営改善計画等における課題の進捗状況を四半期ごとに把握し、達成のための取組とその評価を行うことで、PDCA サイクルをまわして改善に取り組んだ。

「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を定め、本学ホームページ及び「学生便覧」において広くステークホルダーに公表し、学生への周知を行った。また、学習成果を定め、各授業科目の到達目標と各学習成果との関係をカリキュラム・マップとして整理し、学生便覧にも掲載し周知した。2021年度はアセスメント指標の設定・公表を行った。

## II 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

### 1 学校法人小池学園のビジョンの「埼玉東萌短期大学のビジョン」の進捗・達成状況

学校法人小池学園のビジョンの「埼玉東萌短期大学のビジョン」（2019年6月修正）

#### (1) 開学時から踏襲するもの

##### 【建学の精神】

以愛為人

##### 【教育理念】

自尊：自分を信じて自信を持って行動する

創造：探究心と柔軟な思考

共生：共に生き、共につくる

#### (2) 「学校法人小池学園のビジョン」（2015年6月）を修正し、新たに明確化したもの

##### 【目標／存在意義／行動基準】について

実践力のある保育者の育成（による社会貢献）を継続する。

ただし、長期ビジョン段階では新たな目標を加えることを想定する。

##### 【中期ビジョン】（2019年4月を起点として3～5年後の目標・姿）

3年後までに、入学者数を95名とする。そのための方策

- ① 「保育者をめざす人が最初に読む本」の制作、配布により、高校1年生に対応。
- ② infocloud Web Marketing を導入し、ホームページの閲覧履歴分析により、本学への関心が高いタイミングで受験生が関心をもつ情報をメール配信する。
- ③ 昨年度導入した「新特待生制度」の申請条件・申請期間を受験生の実態に合わせて変更し、申請者を増やす。
- ④ 指定校数の拡充 215校 ⇒ 290校
- ⑤ 指定校推薦入学試験の出願基準と定員の変更

これまで、全教科・科目の評定平均値3.0以上40名としてきたが、指定校推薦入学試験A（従来と同基準。30名）のほかに、指定校推薦入学試験Bを新設する。指定校推薦入学試験Bでは、全教科・科目の評定平均値2.7以上で、高等学校において特に優れた活動があり、推薦書にその活動内容が明記されたものを基準とし募集定員を10名とする。

⑥ 昨年度実施した「夢のかけはし教室」（小学生対象講座）を2019年度は年2回開催し、多くの小学生が本学を知る機会とする。

5年後：幼児保育学科定員80名→100名

**[長期ビジョン]（2019年4月を起点として10年後の目標・姿）**

2学科制とし、収容定員を280名とする。

建学の精神、学校訓を保育者の実践力との関係でも位置づけ、「実践力のある保育者へのみちすじ」の冊子においてその内容を示し、学生生活のさまざまな場面で学生に周知してきた。2021年度卒業時調査では、「埼玉東萌短期大学の建学の精神を意識している」の肯定的回答が94%、「本学の学校訓の一つである「自尊」の力をもっている」の肯定的回答が94%、「本学の学校訓の一つである「創造」の力をもっている」の肯定的回答が94%、「本学の学校訓の一つである「共生」の力をもっている」の肯定的回答が94%と学生に浸透している。

「実践力のある保育者の育成」についても浸透し、学修（授業）、実習・ボランティア、キャンパス・ライフ、キャリアサポートの4つのフィールドで学生生活の各段階での目標を定めて取り組んでいる。

[中期ビジョン]（2019年4月を起点として3～5年後の目標・姿）で掲げた3年後までに、入学者数を95名とするについては、2022年度出願者88名、入学生が85名と向上した。方策としてあげた6項目のうち、①～④は実施した。⑤は2020年度入学試験において実施したが、指定校推薦入学試験Bの効果よりも志願者減につながった可能性が考えられることから、2021年度以降の入学試験では取りやめ、特待生制度の拡充を行った。2021年度と比較して2022年度は志願者を増やすことができた。⑥については2021年度は夏に実施、新型コロナウイルス感染症の影響により、冬については実施を中止した。

長期ビジョンにおける2学科制について、他大学等の動向や必要な経費等についての検討を行っている。中期ビジョンの学生募集目標の達成が前提となる。

## 2 「経営改善計画」の進捗・達成状況

### I. 教学改革計画

#### <実施目標>

建学の方針「以愛為人」に基づき、高等教育機関として質の高い教育を行い、地域社会にとって有用な人材輩出、優れた保育者の輩出を行うとともに、地域社会に対してさまざまな講座、講習による貢献をおこなっていく。

#### <実施計画>

質の高い教育の実施による有用な人材の輩出、優れた保育者の輩出、地域社会のための貢献を推進する。そのために、以下の①～⑧を実施する。

- ① アセスメント・ポリシーの制定。アセスメント指標の整備と実施、公表。学生の学修、学生生活全般における学習成果の獲得状況を可視化。
- ② 学生生活と学生支援の充実
- ③ 教員評価制度の運用とFD活動の充実による教育の質向上
- ④ 実習、キャリア支援の充実

- ⑤ 退学者防止、令和5年度卒業生段階で、入学者の6%以内とする。  
(⑤-1~2の他に、②-1~4、6も防止策となる)
- ⑥ 高大連携と高大連携プログラムの実施…学生募集に記載
- ⑦ 地域貢献の充実
- ⑧ 組織改編による業務の効率化

<取組内容/数値目標>

教育の質向上、有用な人材輩出、優れた保育者の輩出、地域社会に対する貢献を進める。

- ①-1 アセスメント・ポリシーの制定 2020年度達成済
- ①-2 アセスメント指標の整備とアセスメントの実施、公表  
アセスメント指標を制定し、2021年12月16日に本学HPに公表した。
- ①-3 学生の学修、学生生活全般における学習成果の獲得状況の可視化  
授業アンケートの項目を見直し、学生が回答した学習成果の獲得状況を把握できる仕組みを整えた。
- ②-1 令和4年度までに学生カルテの整備◎  
2021年度は在籍する学生是認分の学生カルテを設置し、運用を実施した。
- ②-2 修学支援制度の研修会の実施  
2021年度末にも研修会を実施した。
- ②-3 保護者支援。保護者相談会の実施と日常的な相談の受付  
保護者相談会を6月5日(土)に来学、電話により開催した。
- ②-4 クラス間、学年間で交流できる機会の設定  
クラス間、学年間での交流の場の東萌祭が中止となり、ハロウィンとクリスマスのイベントを開催した。また、11月の実習の実習体験全体報告会を1-2年生合同で、1年生の「基礎ゼミナール」発表も加え、ミニ学会として実施し、学年を超えて学習成果を共有した。
- ②-5 学友会役員と学友会顧問や学務委員会教職員との懇談会の設定  
イベント開催等について、教職員と学友会役員との懇談、FD委員会が学友会に参加の呼びかけを行って、授業アンケートに関する学生座談会をそれぞれ実施。
- ②-6 学生相談室における予約相談とは別な昼休みイベントの企画  
昼休み等を活用して、自己理解、キャリア意識に関するイベントを実施した。
- ②-7 障害学生支援の申請に係る書式一式の整備 2020年度達成済
- ②-8 マナー教育の推進の検討  
11月18日(木)第1回FD研究会で検討。2022年度からゼミ活動に盛り込む。
- ②-9 SNSによる学生への連絡についての可否を検討  
年間行事予定や学内掲示板に掲示の課題を学生が自宅から確認できるようになった。教職員側のSNS利用設定や個人情報管理に課題があり、電子メールとSAITAMATOH0.NETにより連絡周知する。
- ③-1 教員評価制度の運用  
教員評価規程に基づく教員評価を実施し、教員へのフィードバックを実施した。
- ③-2 研究倫理教育の強化 FD委員会研究倫理推進部  
全教職員によるe-learningの受講及び年度末の研修を実施した。

- ③-3 授業内容と効果的な授業方法についての研修の実施  
FD 研修会を年2回開催し、授業内容と効果的な授業方法について検討した。
- ④-1 実習・キャリアセンターの設置と運用の指針整備 2020年度達成済
- ④-2 幼稚園実習の安定的な実習先の確保  
2021年度は目標17園に対して23園の安定的な実習先を確保した。
- ④-3 詳細な園情報の把握できる就職先の確保  
2021年度は、保育所（目標：35園、実績：38園）、施設（目標：8施設、実績：8施設）、幼稚園（認定こども園を含む）（目標：10園、実績：23園）といずれも目標を達成した。
- ④-4 キャリアサポートプログラムに関する基本的な資料の整備  
求人票を種別・地域ごとに区分してファイリングすることにより、学生が探しやすくなった。SAITAMATOH.NET内に「キャリア支援」のコースを設置し活用した。
- ④-5 令和4年度までに保育士資格85%、幼稚園教諭2種免許状75%の取得率を達成する。（対卒業生数）  
2021年度は、保育士資格（目標：80%、実績98.5%）、幼稚園教諭2種免許状（目標：73%、実績92.5%）ともに目標を達成した。
- ④-6 令和3年度までに卒業生に対する就職率を93%以上とする。  
2021年度は、卒業生に対する就職率は97%であり、目標を達成した。
- ⑤ 退学者防止、各年度の卒業生の入学からの退学率の数値目標（この%以内に抑える）  
2021年度卒業生は、卒業までの退学者0名（0%）であった。2022年度卒業生となる、1年次は退学者が2名、除籍者2名、1年次の退学・除籍率5.13%である。2年次の学生支援をさらに強化する。
- ⑤-1 修学支援制度の周知（毎年度）  
学生へのタイムリーな制度周知及び、保護者向けの説明会を実施した。
- ⑤-2 一人で安心して過ごせる居場所づくり 2020年度達成済
- ⑥ 高大連携と高大連携プログラムの実施…「Ⅱ. 学生確保の方策」に記載
- ⑦-1 保育者支援・地域貢献センターの設置 2020年度達成済
- ⑦-2 越谷市、越谷市社会福祉協議会、その他の団体との包括的連携の協定書の締結 2020年度達成済。越谷市社会福祉協議会とは、協定締結は行わず、連携した活動を行った。
- ⑦-3 卒業生の支援情報、公開講座の参加情報の集約するシステムの構築  
Toho Linkで管理し、集約する。
- ⑦-4 本学のイベントや講座をトータルで発信するシステムの構築  
埼玉東萌短期大学のHPに「地域貢献」ページを開設した。
- ⑦-5 本学のイベントや講座の参加者情報をトータルで整備するシステムの確立  
教職員共有フォルダ内の「名簿フォーマット」で一元管理が可能となった。
- ⑦-6 令和3年度より、免許状更新講習を実施。令和2年度、3年度の初めにそのための制度、実施計画、案内準備  
全5講習を実施した。

- ⑦ー 7 地域を対象とした活動回数を令和6年度までに25回まで増加させる。  
 高校への出前授業 30回、高校生を対象とした講座、授業(OCを除く) 11回、  
 公開講座(小学生対象講座を含む) 3回、各種イベント(附属図書館イベントを  
 含む) 1回、専任教員研修会講師等 6回、その他 12回、合計63回実施した。
- ⑧ー 1 令和2年度より5つのセンター組織による教職協働の運営を行う。  
 2020年度より実施。
- ⑧ー 2 令和4年度までに、委員会等を4～5委員会廃止または統合  
 2021年度より入試委員会、学生募集委員会を廃止し、アドミッションセンタ  
 ーがその業務を行うこととした。法人の委員会組織では、ハラスメント防止委員  
 会、個人情報保護委員会の廃止、その業務がコンプライアンス委員会に統合され  
 た。  
 2022年度には、これまでの実習委員会を廃止し、実習常任委員会の名称を実習  
 委員会に変更する。

## II. 学生確保の方策

### <実施目標>

独自のストロングポイントを確立し、ステークホルダーに分かり易く伝え、安定  
 的に定員を充足させる。

### <実施計画>

入学志願者数の増加につながる効果的な広報活動を推進し、令和4年度までに入  
 学定員充足85%にする。

- ① オープンキャンパスや個別相談の参加者数増加および出願率の向上
- ② 奨学金制度の強化
- ③ 地方在住者や多様な学生の受入れ
- ④ ホームページの充実
- ⑤ 高校訪問の効果を高め、情報収集と信頼関係づくりの強化を行う
- ⑥ 個別相談の参加増
- ⑦ 高大連携プログラムの強化により、高校からの内部進学率を向上させる。
- ⑧ 特色の共有
- ⑨ スクールバスや自転車シェアリングの検討
- ⑩ 新たな施設設備
- ⑪ 編入学先の確保
- ⑫ 高大連携・産学官連携の協定締結
- ⑬ 多くの学生の声の発信
- ⑭ 新たなイベントの検討と実施
- ⑮ 横のつながりを活かした情報収集
- ⑯ 埼玉県委託訓練生制度の有効活用

<取組内容/数値目標及び実施責任者担当部署> ◎は重点事項

入学定員充足率の確保

2022年度 目標68人に対し、入学者85名(入学定員充足率106.3%)

- ①ー 1 オープンキャンパスや個別相談の参加者数増加

2022 年度入学 目標 259 人に対して 257 人

オープンキャンパス参加者数は増加。オープンキャンパスでの相談の充実、SNS での質問者の増加により、個別相談数が減少。

①-2 オープンキャンパスの参加者に対する出願率向上

2021 年度入学 目標 30%に対して、34.4%

② 特待生制度利用者（申請者）数を増加させる。

2021 年度入学での目標は 27 人。

【特待生 A】申請 35 人 採用 34 人

【特待生 B】対象 24 人 採用 24 人

【合計】申請者合計(実数)43 人 認定者合計(実数)42 人

③ 地方在住者や多様な学生の受入れ

③-1 地方からの出願者獲得

2021 年度入学の目標 6 人に対して、実績は 8 人であった。

③-2 外部からの科目等履修生や特別聴講生の受入れ

認定絵本土への関心から、「こども文化Ⅰ」「こども文化Ⅱ」の問い合わせを受けていたが、新型コロナウイルス感染症への不安から落ち着いてから考えたいということで、2020 年度及び 2021 年度前期の受入れはいずれも 0 人であった。

④ ホームページの充実

●コンテンツを増やす

2021 年度は、100 本の記事と 12 本の動画を公開した。

⑤ 高校訪問の効果を高め、情報収集と信頼関係づくりの強化を行う

⑤-1 入学者やその他必要な情報の精査等、訪問の準備

限られた時間で手短かに伝えられる資料を用意。

⑤-2 活発な高校訪問の実施

5～6 月は奨学金制度などの紹介、在学生、卒業生の現状報告、新入生の入学後の目標シートのお渡しを行った。9 月は出願希望者の在籍校の訪問により、入試説明、募集要項のお渡しを行った。

⑥ 個別相談の参加者増

2020 年度の目標を 29 人としていたが、来場型 8 名 オンライン 1 名 合計 9 名。オープンキャンパスでの相談の充実、SNS 質問対応によると考えられる。

⑦ 内部進学率の向上

2021 年度入学生数の目標 4 人、実績 2 人であった。武蔵野星城高校の保育系進学希望者が目標値に届かなかった。

⑧ 教職員で年度ごとにアピールポイントを共有

2020 年度のスライドを基に、内容を更新し共有した。

⑨ スクールバスや自転車シェアリングの検討

⑨-1 スクールバスの検討

教学・学生支援センターで検討した。

⑩ 新たな施設設備

⑩-1 施設の有効活用の検討

クリエイティブホールや学生ラウンジに机を配置し、コロナ禍でも3密を避けて対面授業が実施できた。

#### ⑩-2 ICT教育環境の整備についての検討

本館2階ラウンジで学生がWi-Fi環境を使用できるようになった。4号館2階にもWi-Fiが導入された。

#### ⑪ 編入学における指定校数を増やす。

進学希望者が現状でいないなかで指定校数を増やすことはできないし必要性は低い。そのため、計画変更し希望者が出た際に速やかに対応することとした。

#### ⑫ 高大連携・産学官連携の協定締結

⑫-1 高大連携の協定を新たに2校と締結し、合計3校とする。◎2020年度達成

⑫-2 産学連携協定を締結する。2020年度達成

#### ⑬ 多くの学生の声の発信

##### ●学生へのアンケートやインタビューの実施と情報掲載

HPに「もえたんVOICE」を設置。学生スタッフによるオープンキャンパスの実施報告や学生インタビューを掲載。

#### ⑭ 新たなイベントの検討と実施

##### ●イベントの発信

新たな取り組みとして、ハロウィンイベントで専門学校東萌ビューティカレッジの生徒に学生メイクを依頼し、交流を図ることができた。また、商業施設で「おはなし会&クリスマスワークショップ」を実施し、その様子をWEBで紹介した。

#### ⑮ 横のつながりを活かした情報収集

##### ●他の教育機関から情報を得る。

9月3日（金）日本児童教育専門学校オンライン広報会議に出席

#### ⑯ 埼玉县委託訓練制度の有効活用

2022年度の目標5人に対して、実績6人であった。

### 3 「2021年度事業計画」の進捗・達成状況

2021年度開学10周年を迎えた。本学が、地域社会にとって、真に必要な不可欠の存在として存立できるかどうか問われる重要な時期との認識を教職員で共有して、経営改善計画2年目の課題に取り組んだ。

また、認証評価を控えており、「令和2（2020）年度自己点検・評価報告書」を発行し、自己点検・評価活動を行い、内部質保証の向上の課題に取り組んだ。

## III 財務状況

学生生徒等納付金は学生数の増加により改善が見られた。人件費は、経営改善計画に基づき削減し、教育研究経費及び管理経費についても削減した。この結果、前年度まで赤字が続いていた経常収支差額は、経営改善計画の目標より一年早く黒字を達成することができた。また基本金組入前当年度収支差額も昨年より増加となり収支は安定している。

次年度以降、必要に応じて施設設備への投資を行いながら、経常収支差額の黒字を継続し、経営改善計画の目標達成に向けて着実な取り組みを図る。

	2020年度	2021年度	増減	(単位：千円)
学生生徒等納付金	141,873	147,174	5,301	
人件費	125,005	115,762	△9,243	
教育研究経費	88,610	74,635	△13,975	
管理経費	21,907	17,795	△4,112	
経常収支差額	△13,298	32,363	45,661	
基本金組入前当年度収支差額	15,727	32,363	16,636	

### 3 武蔵野星城高等学校

#### I 主な教育・研究の概要

武蔵野星城高等学校は、学校教育法に基づく単位制による通信制課程（広域）・普通科の高等学校として、平成14（2002）年3月13日に埼玉県知事から認可を受け、同年4月1日に開校した。入学定員は140人、3年制である。

「面倒見がよく、親身な指導をしてくれる学校」という、地元・近隣の中学校や塾の先生方からいただいている有難い評価を、揺るがないものにしていくために、「以愛為人」という本学園の建学の精神を全教職員が胸に刻み、「生徒本位の学校」になりきることを目指す。「生徒本位」とは、生徒一人一人の成長にとって最も相応しい教育を提供することを指す。

##### 1 建学の精神

以愛為人（愛を以て、人と為す）

##### 2 学園訓

自尊・創造・共生

##### 3 教育目標

- (1) 思いやりのある心をもって行動する。
- (2) 生活に役立つ知識や技能を取得する。
- (3) 幅広い教養を身につけ、国際交流をすすめる。

##### 4 教育方針

- (1) 心身ともに健全で、知性及び情操の豊かな青少年の育成を目指す。
- (2) 社会から必要とされる人間の育成を目指す。
- (3) 幅広い教養を身につけ、国際感覚の豊かな人間の育成を目指す。

#### II 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

##### 1 5か年改善計画に沿った教育活動の成果

###### (1) 教育課程

本年度の新教育課程は完成した。今後の最大のポイントは観点別評価の在り方に関する研究を深め、一定の完成は果たせたが細部にわたるより完璧な仕組みは今後も継続して検討改善を進めていく。

###### (2) スクーリング・レポート・テスト

レポートの完成に関しては、まずは授業中での完成を目指した。次に早めの返却に努めた。添削時のコメントも生徒に寄り添える形に努力した。わかる授業も従来の板書の教授法に、アクティブラーニング的教授法、更にデジタル教材の活用等様々工夫を加えて実践した。10月の生徒の授業アンケート結果を各教員に公開した。年度末の授業アンケート集計結果も教員に公開した。各自研鑽の糧にしてもらうよう活用を呼び掛けた。

授業観察に先駆けて、SHRの管理職による巡回観察から開始した。授業を流し撮りすることも何本か試みた。授業観察については最重要であるにもかかわらず、新型コロナウイルス対応のための授業減等により、本年度は手薄になってしまった。

### (3) 生徒理解、カウンセリング

繊細な生徒への寄り添い方と、行動変容を求めなければいけない生徒への注意の仕方と生徒の特性を十分に理解したうえで適切な指導ができるように日々研鑽を積んだ。1月7日(金)に実施した教員研修では、スクールカウンセラーの林先生による「カウンセリングルームより」のテーマで実施した。今後の指導改善につなげていきたい。

### (4) 職員研修会

職員による委員会の一つに「研修委員会」(構成:委員長・委員計4名)を新設した。前年度末に自主的準備会が開かれ、4月からのロケットスタートにつながった。4月16日(金)「自分が考える理想の教師像」、6月4日(金)「三者面談の心構えと進め方・話し方等」、7月16日(金)「ICTの活用について」、8月26日(木)「部活動 全国大会の報告」、9月30日(木)「環境保健部 清掃について・保健室より」、11月26日(金)「LGBTQの生徒対応について」、12月17日(金)「ICT・Googleの使用方法について(オンラインレポート作成等)」、1月7日(金)「スクールカウンセラー研修」、2月25日(金)「観点別評価」、計9回、職員の手による研修会を開催した。

「教師力向上研修会」は、若手教員7名で構成されていたが、自主的に運営を始めた。4月21日(水)「教師力、及び教師力を向上させるには」、5月28日(金)「褒める」、6月29日(火)「保護者対応」、7月26日(月)「ディベート」、8月26日(木)「2022年4月より施行される、成人年齢18歳について」、9月28日(火)「制服・頭髪指導の在り方」、10月15日(金)「子育てから見る生徒・保護者理解」、11月19日(金)「スケジュール手帳の導入」を実施した。

### (5) 体験的学習の時間

当初は国や県による新型コロナウイルス感染防止対策のために6月中旬まで、計画を中止せざるを得なかった。が、6月25日(金)から7月16日(金)までに4回、「草加せんべい焼き体験」、「ゴールボール」、「クッキー作り」、「豆つかみ大会」、「パラスポーツ」(日本財団の「あすチャレスクール」を招聘し、車いすバスケットを体験した)、「川柳」、「SDGs」、「薬害」、「ユニクロ服のチカラプロジェクト」、「貿易ゲーム」等を実施した。10月中は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンラインを活用した体験的学習を実施し、「北朝鮮による拉致問題」や「選挙について」などを扱った。11月からは、各教員が生徒の興味関心に合わせた様々な講座を受け持つ特別講座を実施した。1月以降は、新型コロナウイルスの第6波のため、計画していたが、ほとんど実施できなかった。

### (6) 主体的学習の支援等

生徒総会にて、「Cross Cultural Communication Club(異文化交流同好会)」の設立が承認され、放課後に英語の学習活動が開始された。4月14日(水)【アメリカ人】、5月12日(水)【アメリカ人】、5月26日(水)【イギリス人】、6月9日(水)【セーシェル共和国人】、6月30日(水)【オーストラリア人】、7月14日(水)【カナダ人】と、いろいろな

国から毎回違うネイティブのゲストティーチャーを招いての英会話レッスンを実施した。また、部員の中に英語検定準一級を受験する生徒もおり、ゲストティーチャーが来ない水曜日には顧問による特別対策も行われた。夏季休業中はゲストティーチャーなしで英検受験対策を実施した。

10月13日(水)【ラトビア人】、10月27日(水)【オーストラリア人】、11月17日(水)【チリ人】、11月24日(水)【フィリピン人】、12月7日(火)【アメリカ人】、12月22日(水)【ベトナム人】のゲストティーチャーを招いての活動を行った。この秋、英検準1級に一人高校2年生が合格した。1月19日(水)【スコットランド人】、2月2日(水)【ラトビア人】、3月10日(木)【イギリス人】、3月17日(木)【アメリカ人】、3月18日(金)【アイルランド人】を招いて実施した。

#### (7) 「朝読」と「NIE」

「朝読」はかなり定着してきた。例えば、毎朝7時40分頃から登校してくる生徒が数名いるが、それらの生徒のほとんどは読書を行っていた。「NIE」については、新聞紙はクラスに一部だけであるので、同時に多くの生徒に行き渡ることとは不可能だが、徐々に生徒の社会や世界に対する関心の高まりを示してきた。生徒の世界に向けての羅針盤のブラッシュアップを期待している。今後は教員による新聞活用法への啓発活動にもウエイトを移していきたいと考えている。冬季休業中に、2年生以上の生徒で大学進学希望者を対象とした講習会で、日経・産経・朝日・読売・毎日・東京・埼玉の各社の新聞を分析紹介する講座を開講したが、参加者からは評価された。この生徒たちがクラスの核となって新聞紙を広げ日常の話題の一つとしてくれることを期待している。また、担任の中には、定期的にクラスの生徒に解説プリントを刊行している先生もいた。

#### (8) 部活動

本年度も当初は、昨年同様新型コロナ感染防止のため、活動はかなりの制限を受けた中でのもとなったが、卓球部が男子団体・男子個人共に優勝し、6年連続で全国大会に駒を進めた。個人でベスト8入りした。また、バドミントン部では男子一人が埼玉県チームのメンバーに選ばれ、全国大会に出場する権利を得た。ハワイアンフラ部は、全国大会に8年連続で出場した。ただし、新型コロナの関係で福島県以外は今年もオンライン大会に変更された。

### III その他

#### 1 「朝の読書活動」

朝のSHR前に、10分間の読書活動を導入した。二年目である。朝の読書活動を導入することで、情報面での整理、学習意欲の喚起、ゲーム依存傾向の改善を多少は図れた。早朝から教室で読書する数人の生徒の姿を毎朝見かけるようになった。朝の読書活動の四原則 一 毎日やる 二 皆でやる 三 好きな本で良い 四 ただ読むだけ

#### 2 NIE

「NIE(ニュースペーパー・イン・エデュケーション)」を導入した。生徒の基礎学力の育成と社会や世界への関心を刺激する、また、それらをもとにしたコミュニケーション能力の育成をい、各教室に新聞が毎日存在し、生徒が自由に手にできる環境

を整えた。

### 3 特色ある活動

#### (1) 国際交流の実践

教育方針である国際感覚豊かな人間の育成を実践するため、2002年12月アメリカ合衆国ハワイ州立J. B. キャッスル高校と姉妹校提携の協定を結び修学旅行時の訪問、交歓を実施してきた。引き続き姉妹校交流の取り組みに注力する予定であったが、コロナの関係で開催できなかった。その分2021年5月の半ばに、長崎へ3泊4日の国内修学旅行を実施した。

#### (2) ICT環境の整備・校内無線LAN環境と新型プロジェクターの更なる整備を進めた。

#### (3) 小池学園三校の連携推進

武蔵野星城高等学校と埼玉東萌短期大学との間で、課題・情報の共有化を図り、有意義な高大連携教育を実現した。

#### (4) ICT環境の整備

校内無線LAN環境、新型プロジェクター設置を実現した。現代に対応したオンラインの教育環境を整えた。

### 4 退学者の防止

高校の中退率改善に向けては、生徒との個人面談や保護者との3者面談等の対応をきめ細かく行った。また、登校コースから一般コースへのコース変更も柔軟に行い、生徒や保護者の希望を理解してうえで、丁寧に説明、対応をしていった。生徒が楽しく学べる「場」を整え、生徒それぞれの居場所を作り、退学者の減少を目指した。教員一人一人の相談スキルアップを目的とした、カウンセリングマインド研修を昨年度から実施しているが、引き続き能力向上を目的として取り組んだ。

### 5 生徒募集における定員充足策への取組

#### (1) 生徒募集総括

2022年度生徒募集は、定員140名に対し入学者数160名で入学定員を充足した。総出願者数782名、入学者数160名（登校コース142名、一般コース18名）

コロナウイルス感染症拡大の影響で学校説明会を中止とし、その代替として動画で学校概略説明、出願・入試説明をホームページ上にアップした。また、個別相談会の予約システムの受付処理機能等も見直した。中学校・塾訪問は予定通り計画的に実施し、イベント、入試情報など新しい情報を中学校、塾の教員に提供した。更にホームページを活用しイベント情報なども頻繁に中学生、保護者等に発信した。電話での入学相談などの問い合わせは場合によっては日時を指定しての予約制できめ細かな親身な対応を励行した。

これらの結果、体験授業・施設見学会、個別相談会の参加者数は過去最高を達成することができた。

#### (2) 受験者・入学者等の推移

年 度	2020年度	2021年度	2022年度
応募者数	797	788	786
受験者数	794	775	782

入 学 者 数	1 4 9	1 5 0	1 6 0
---------	-------	-------	-------

(3) イベント参加者の推移  
ア (体験授業・施設見学会)

回数	2020年度	2021年度	2022年度
1	45	34	90
2	49	27	
3	80	62	
4		74	
合計	174	197	90

イ (個別相談会)

回数	2020年度	2021年度	2022年度
1	98	133	68
2	78	117	129
3	67	111	111
4	74	145	110
5	117	131	137
6	120	166	113
7	342	142	160
8	18	7	183
9			13
合計	914	952	1024

6 財務状況

学生生徒等納付金は在学生の増加により改善が見られた。人件費は小幅な削減に留めた。一方、管理経費および教育研究経費は増加に転じた。結果、経常収支差額及び基本金組入前当年度収支差額は増加となり昨年度同様収支は安定している。

	2020年度	2021年度	増 減 (単位：千円)
学生生徒等納付金	231,362	250,590	19,228
人件費	160,059	158,326	△ 1,733
教育研究経費	54,673	61,438	6,765
管理経費	9,477	10,216	739
経常収支差額	42,967	55,210	12,243
基本金組入前当年度収支差額	44,346	56,693	12,347

## 専門学校東萌ビューティーカレッジ

### I 主な教育・研究の概要

専門学校東萌ビューティーカレッジは、美容に関する専門的・実践的な技術・知識等を総合的・効率的に教育し、知性と教養にあふれた実践力のある美容師の育成を目的に、平成10（1998）年3月30日に埼玉県知事から専修学校の認可を、同年4月1日に厚生大臣から美容師養成施設の指定を受け、昼間課程美容科及び通信制美容科を擁する美容学校として4月1日に開校した。また、本校美容科は、企業等と密接に連携して実践的な職業教育に取り組む学科に対して文部科学大臣が認定する「職業実践専門課程」に平成27（2015）年2月17日に認定された。

#### 【教育方針】

- ・笑顔と感動に包まれた教育の実践

#### 【教育目標】

- ・情操豊かで、独創性に富んだ人材育成を目指す
- ・社会から必要とされる人材の育成を目指す
- ・技術力、知識力、人間力の総合を美容師力とし、美容師力に富んだ人材の育成を目指す

#### 【指導の重点】

- ・美容師国家試験を在学中に取得できるよう指導を徹底する
- ・美容に関する専門的な技術・知識等を総合的に習得できるよう指導する
- ・社会人としての基本的マナーを身につけ実践できるように指導する

#### 【教育の充実】

「笑顔と感動に包まれた教育の実践」という教育方針の元、「笑顔と感動と幸せを提供できる美容師育成」をミッションとして掲げ、入学者全員が美容師国家試験合格を目標とし取り組んでいる。具体的には技術力、知識力、人間力の総合力を「TOHO美容師力」と位置付け、美容師力を強化することで卒業後は即戦力として活躍でき、かつ社会に必要とされる人材育成に努めている。

#### a 実践力のある美容師育成への取組み

- ア 企業と連携したサロンワーク授業の実施
- イ 卒業生を講師として招き授業を実施
- ウ 校外における研修の実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- エ 本校オリジナルの社会人検定（1級～3級）の実施
- オ インターンシップの実施

#### b 美容師国家試験対策

- ア 実技試験対策

- ① 技術進度別授業体制
- ② 半期毎チェックテストの実施
- ③ 実技検定試験の実施
- ④ 通信生に対する国家試験実技対策セミナーの実施

イ 筆記試験対策

- ① 基礎学力試験の実施
- ② 校内検定試験の実施
- ③ 補習授業の実施
- ④ 国家試験直前の試験対策
- ⑤ 既卒者に対する国家試験対策セミナーを実施。

c 特色ある教育の実施

- ア 選択必修課目の「美容総合技術」の中で、生涯健康で美しくいるための基本である栄養学や調理学（調理実習）、体の中から美しく生きるためのヨガを引き続き実施。
- イ 選択必修課目の「美容サロンワーク」の中で、生徒の夢の実現に不可欠なセルフブランディング力、コミュニケーション能力を養う授業を実施。

d 地域貢献（地域イベントへの参加、本校での開催）

- ア 毎年12月第一土曜日に越谷市蒲生交流館で開催される「一日子ども商店街」にビューティサロンを開設し、本校教員と生徒有志が参加
- イ 越谷レイクタウン KAZE において企業とのコラボイベントにて来店客に対して、ハンドマッサージ、ネイル等のサービスを提供。（新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント中止）
- ウ ララガーデン春日部主催の「はじめてのおしごと」にて美容師の仕事の内容、魅力を小学生に伝えるイベントへの協力（新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント延期）
- エ 2022年3月より本校主催にて小、中、高校生を対象のお仕事体験イベント「TOHO BEAUTY WORK SHOP」を開催し、地元美容サロンと共に美容の仕事の内容、魅力を伝える。

e 充実した学園生活を送るための学生・生徒への支援

- ア 日本学生支援機構奨学金、提携教育ローン等の周知徹底及び利用ニーズに適切に対応
- イ 就職・進路相談の充実
- ウ カウンセリングルーム利用の周知
- エ 美容師支援プログラムの導入による卒業生へのサポート強化

Ⅱ 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

1. 教学改革計画

<実施目標>

2021年度入学生より中途退学予防

<実施計画>

2021年度入学生より入学前指導を導入し中途退学の予防を図る。

<取組内容/数値目標及び実施責任者・担当部署>

2020年10月末までに入学予定者に対する事前指導案作成（教務/入試広報課）

2021年2月、3月 入学前指導（プレカレッジ）実施

2021年4月～ 選択課目「美容サロンワーク」の中で“美容業界研究”を主題とした授業を開始し夢の実現のためのスキルを身に付けていくことで、将来の目標設定を自ら作り、行動をしていくことにより中途退学予防の一つとしての指導を行っていく。  
担任による二者面談を行った。

<実施目標>

学納金改定（2021年4月施行予定） 重点事項

<実施計画>

2021年4月より学納金を改定する。

<取組内容/数値目標及び実施責任者・担当部署>

学則変更届を2020年5月末までに埼玉県学事課に提出

2020年5月学則変更届を学事課に提出。

2020年6月2日付受理。2021年4月より施行予定。

<実施目標>

2024年度から2コース制の導入検討及び入学定員の変更検討

<実施計画>

教務：「美容マネジメントコース」と「美容ライセンスコース」の2コース制の導入

事務：2コース制導入に係る学則変更手続き

<取組内容/数値目標及び実施責任者・担当部署>

教務：教育課程の編成

シラバスの策定

担当講師手配

事務：学則変更手続き

募集要項等作成

教務

取組：2021年4月より選択必須課目「美容サロンワーク」の中で、美容マネジメントコースの授業のひとつとして検討をしている“美容業界研究”を主題とした授業を開始し教育的効果の検証。その検証結果として生徒ひとりひとりが自らの夢への思い、夢実現に対しての道筋をしっかりと述べるまで成長。両コースの生徒に必要な授業としていきたい。

2021年4月にカリキュラム編成委員会を発足し次年度入学生に対し、選択必須課目の中で「美容ライセンスコース」と「美容マネジメントコース」の2コース制の実現にむけて、それぞれの特色を打ち出せるような内容の授業展開を開始し、教育的効果の検証をするための具体的な準備を進めている。2022年10月より1学年の生徒を対象に「スタイリストコース」と「トータルビューティーコース」を選択させ教育的効果の検証を実施する。

結果：美容業界研究授業を導入その検証結果として生徒ひとりひとりが自らの夢への思い、夢実現に対しての道筋をしっかりと述べるまで成長。両コースの生徒に必要な授業としていきたい。

## 事務

2コース制導入に伴い、教育課程の変更及び入学定員の変更も含めて、専修学校設置基準及び美容師養成施設指定規則等の関係法令に則り、適法に導入できるよう関係監督庁と連携しながら学則及び諸規程の改定に向けて検討を進めている。

## 2. 学生確保の方策

### <実施目標>

入学定員の安定確保

### <実施計画>

学生募集計画

- ・オープンキャンパス計画
- ・高校訪問計画
- ・ホームページ更新計画

### <取組内容/数値目標及び実施責任者・担当部署>

◎は重点事項

- ① 資料請求者数目標値設定◎
- ② オープンキャンパス来校者目標数値設定◎
- ③ 入試区分別の目標数値設定◎
- ④ 高校訪問実施◎
- ⑤ ホームページ更新◎
- ⑥ DM発送◎
- ⑦ 推薦入試奨学生制度案の作成

### ①資料請求者数目標値設定◎

対 象	目 標	2021 年度実績	2020 年度実績	2019 年度実績
高3生	400名	237名	451名	519名
高2生	820名	549名	491名	651名
高1生	380名	109名	165名	156名
合 計	1,600名	895名	1,107名	1,326名

取組：学校ホームページ、進路媒体、SNSの更新頻度を高め、学校の魅力の訴求を行う。

インスタグラムのストーリー機能からホームページに誘導する導線を作り、資料請求の訴求を図った。

結果：進路業者の媒体削減、高校での進路活動の停滞、1人当たりの資料請求数の減少により、資料請求数が減少した。また、資料請求をせずに来校する人数が昨年と比較し、117.1%となっている。WEBやSNSにある情報だけで来校するか否かを決める割合が若干ではあるが増えている。

対策：引き続き、SNSや学校ホームページ、進路媒体での学校の魅力打ち出しを行っていく。

高校生の各学年、保護者、高校の先生など、対象に合わせた必要な情報をWEBに掲載する。

資料請求フォームの入力項目で削除できる箇所を精査し、入力時の手間をできる限り削減する。

## ②オープンキャンパス来校者目標数値設定◎

イベント来校者数

対象	目標	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績
高3生	116名	92名	70名	104名
高2生	22名	24名	37名	29名
高1生	8名	5名	0名	3名

※来校型オープンキャンパス他、個別相談会、学校見学、オンラインイベント参加者も含む。

目標値を過去の来校者数の実績と出願歩留まり率を考慮し設定。入学年ごとの累計実数での数値目標とする。

## 2021年度イベント開催回数

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績
OC	1	2	2	2	2	1	1	2	1	1	0	2	17	19
個別相談会	0	1	2	1	4	4	1	2	1	2	0	1	19	14
オンラインOC	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4

## ②-1 出願率の歩留まり向上

募集年度	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績
歩留まり率	45.7%	55.7%	36.9%
来校者数	92名	70名	103名
出願者数	42名	39名	38名

取組：来校以前での志願度を底上げするため、WEBの更新頻度を上げ、在校生についての記事を増やし、来校促進を図っていく。

オープンキャンパスでの実習体験について、複数の技術を体験できるプログラムを増やす。高校生の多様なニーズに沿うようにし、複数回参加しても楽しめるよう内容を充実させる。

AO入試にエントリーする条件として、今年度も来校していなくてもエントリーを可能としている。

入試の時期に合わせて学校ホームページのバナーで告知した。

結果：歩留まり率については昨年度と比較すると10ポイント減少。他校と比較しての魅力の打ち出しが弱い。一つひとつのコンテンツについて改めて来校者の満足度を高めるための検証を進め、実践していく。

対策：在校生スタッフが個別対応するコンテンツの充実を図るとともに、在校生スタッフの接遇向上を図る。

オープンキャンパスの内容のブラッシュアップの継続とフォロー強化を図る。

## ②-2 他校と比較しての本校の強みの打ち出し

取組：姉妹校の紹介と各施設を利用して多様な授業を実施していることをWEBで発信している。

特色ある授業について校内に写真を掲示し、学校見学时等に説明をしている。

学校独自の行事として、DMに掲載して周知を図る。

生徒から志望動機などのアンケートをとり、その内容を学校ホームページに掲載している。

結果：単願である指定校推薦の第1期での出願者が増加したことにより、本校を第一志望と考えて入学を決めた生徒の割合が増えた。

対策：他校との比較検討において在校生や卒業生からヒアリングする。

比較検討作業から得られた「東萌ビューティーカレッジらしさ」を「人」を介して発信していく。

## ②-3 学生スタッフの接遇向上

取組：2021年6月23日（水）の放課後に生徒スタッフミーティング実施した。

オープンキャンパスの意義や目標、心構えを共有した。

受付や学校見学など、生徒スタッフが中心となって動く場面でのロールプレイングを実施した。

オープンキャンパス開始時に全教職員、在校生スタッフで事前ミーティングを実施している。

来校者オープンキャンパスアンケートの中で在校生スタッフの記名があった生徒への努力賞を事後ミーティングにて表彰を実施している。

結果：学生スタッフの親しみやすさにより、学校の雰囲気の良いにつながった。

オープンキャンパス当日のみのお手伝いが多く、教職員側がオープンキャンパスの内容を全て決めていたので、学生スタッフの自発性が欠けてしまっていた。

対策：年間を通して学生スタッフミーティングを実施していく。

受付や学校見学時の学生スタッフの対応を動画で撮影し、反省会やロールプレイング時に役立てる。

生徒スタッフをチーム編成し、オープンキャンパスの開催について責任を持たせる。

#### ②-4 オープンキャンパスの内容見直し

取組：実習体験時の体験メニューを選択式に変更した。

午前中に開催する回を多くし、時間を短縮することで、来校への負担や不安の軽減を図っている。

オンライン形式でのオープンキャンパスの受付を行っている。

個別相談会を平日毎日受け付け、来校形式とオンライン形式の選択式で実施している。

保護者説明会にて学費サポートの詳細について説明した。

プログラムが始まるまでの時間に学校紹介動画を上映し、オープンキャンパス終了時には当日に撮影した写真をスライドショーで上映している。

受付時に LINE の登録を促し、アカウントが特定できている方には当日の写真を送付している。

次回オープンキャンパスの告知と参加者へのお礼状発送でフォローを強化している。

地域の美容サロンでの開催により、現実的な空気感での実習体験と美容の仕事を深く知ることのできる特別なオープンキャンパスの実施を行った。

結果：上記取組により来校者の増加、リピーターの増加につながった。

8月に実施した美容サロンでのオープンキャンパスを通して、出願につながった生徒がいた。

対策：在校生スタッフの接遇向上を継続して実施する。

オンライン形式でのイベント開催の質を上げる。

来校につなげる情報の提供を行っていく。

オープンキャンパスのテーマ「笑顔と感動を届けるオープンキャンパス」を徹底する。

教員、生徒主導のオープンキャンパスに変更していく

イベント時の前日準備を必須とし、事前準備、事前告知を早める。

11月に実施予定の卒業生制作発表会に高校生を招待する。

面談や面接前のオープンキャンパスでは希望者に模擬面接を実施する。

高校3年生が早く帰宅する日が続く6月の三者面談時などに、普段の授業を見学してもらう機会を設ける。

#### ③入試区分別の目標数値設定◎

出願目標値及び昨年度実績との対比

	2021年度	2021年度	2020年度	2019年度
--	--------	--------	--------	--------

	出願目標値	出願実績 (10月19日募集募 集締め切り)	出願実績	出願実績
指定校推薦	12名	20名	17名	6名
学校推薦		2名	4名	1名
自己推薦	8名	1名	7名	2名
一般・社会人		-	2名	3名
AO入試	16名	19名	10名	26名
計	36名	42名	40名	38名

取組：今までの出願状況と新設する入試減免制度の結果を見込み、入試区分別の目標数値を設定した。

来校時に入試区分によって対象となる学費サポートを説明している。

AO入試について、エントリーシートの書き方や面談についてオープンキャンパス時に説明している。

模擬面接指導付きの個別相談会を実施した。

AOエントリーを含め、全ての入試区分においての面接（試験）は、オンラインでの面接を可能とした。

10月19日(火)にて2022年4月入学生「美容科」募集締め切りをした。ホームページに記載。

11月5日(金)指定校全校に「美容科の推薦入試、一般入試の募集締め切りについて」の書面を郵送した。

結果：指定校推薦での受験者が増加したことと、第一志望で本校への出願を決めた受験者が増加した。

対策：継続して、推薦入試減免制度の周知徹底を図る。

早期合格者に対しての特典を設定する。

#### ④高校訪問実施◎

##### ④-1 高校訪問

取組：4月 訪問校数 0校

5月 訪問校数 0校

6月 訪問校数 28校

10月 訪問校数 4校

訪問時に笑顔と感動大賞で受賞した卒業生の報告をした。

結果：募集定員に達した際、もっと早くに定員に達し次第、募集を締め切る旨の連絡がほしかったとの要望が高校からあり、改めて高校訪問のタイミングと伝える内容について確認が必要だった。

対策：コロナ禍である現在、出願見込み者がいる高校には事前に電話確認し、状況把握する。

事前にアポイントメントをとりながらの主要校の訪問を継続する。  
指定校となっている高校の精査をするとともに、指定校には特にこまめな情報共有を行っていく。

#### ④-2 高校とのパイプ強化

取組：武蔵野星城高等学校との連携を強める。

2021年4月26日 小池学園を知ろう 開催

2021年5月13日 美容講座 開催（ワインディング実習体験 1年生9名・2年生4名・3年生3名 計16名参加）

2021年6月1日 内部進学説明会 開催（3年生 5名参加）

2021年6月10日 美容講座 開催（傷メイク実習体験 1年生6名・2年生3名・3年生3名 計12名参加）

2021年7月6日 内部進学説明会 開催（3年生 4名参加）

2021年7月8日 美容講座 開催（ネイルアート実習体験 1年生7名・2年生3名・3年生3名 計13名参加）

2021年9月24日 内部進学説明会 開催（参加者なし）

2021年10月27日 内部進学説明会 開催（参加者なし）

結果：武蔵野星城高等学校の入学者数の増加につながった。

2022年度生6名・2021年度生4名・2020年度生1名

対策：武蔵野星城高等学校とは今後も継続して、進路行事や、先生との情報共有を行っていく。

武蔵野星城高等学校との取組を他校にも紹介し、同様のことが実施可能である旨を伝える。

#### ⑤ホームページ更新◎

##### ⑤-1 ホームページ更新

取組：タイムリーかつ学校の魅力が伝わる内容で情報更新している。

今年度よりスタートした学費サポートについてのバナーを設置した。

Q&Aの項目を新たに設置した。

在校生、卒業生、教員紹介の記事を投稿した。

6月末頃より学校ホームページのオープンキャンパスページを夏仕様に変更し、特別感を演出した。

2021年10月4日より校長ブログを開設（毎月3回更新）

通信制美容科（4月入学）に通う生徒、保護者にインタビューをし、記事を掲載した。

8月のオープンキャンパスについて満員御礼の記事を掲載することで、その後の出願に向けての勢いがついた。

結果：来客者などから校長ブログを見たという声をよく聞くようになった。

通信制美容科（4月入学）の入学者数の増加につながった。

来校者数の増加につながった。  
 対策：対象者別の情報提供を行う。  
 継続してタイムリーかつ学校の魅力が伝わる内容で情報発信していく。

#### ⑤-2 SNSの活用

取組：2021年5月21日（金）の放課後に生徒スタッフミーティング実施した。  
 インスタグラム、ツイッターの更新スピードを上げている。  
 LINE@を登録した方には来校時にフェイスマスク（化粧品）をプレゼントする  
 キャンペーンを実施している。  
 2021年12月1日（水）の放課後に生徒スタッフミーティング実施した。  
 結果：インスタグラムの投稿数の増加により、他の美容室からのタグ付けが増加した。  
 生徒スタッフミーティングの実施により生徒スタッフのテキスト作成が迅速にな  
 った。  
 対策：SNSを運用する生徒とのミーティングを定期的実施する。  
 各SNSに掲載する内容の見直しを図るとともにコンテンツの充実を図る。

#### ⑥DM発送◎

取組：①2021年4月15日 納品日  
 4月～6月イベント内容、学校の特徴、本校独自の学費サポートの案内  
 ②2021年6月29日 納品日  
 7月～9月イベント内容、本校のオリジナル学校行事、在校生からのメッセージ、本  
 校独自の学費サポート、入試受付期間のご案内  
 ③2022年3月4日 納品日  
 3月～4月イベント内容、学校の特徴、東萌スマイルチャレンジ奨学金の案内、  
 AO入試日程  
 結果：昨年度と比べ、来校者数の増加と資料請求者への継続的な接触コンテンツとなった。  
 対策：2022年度も3回のDM発送を予定しているため、発送時期、内容の見極めを行う。  
 DMから次のアクションに繋がるかどうかの検証を実施する。  
 定期的に、笑顔と感動大賞の受賞者や誕生日を迎えた生徒、内定報告、オープン  
 キャンパスの実施報告や予告、特色ある授業などを紹介するレポートを作成し、  
 資料請求者やイベント参加者等に配布する。

#### ⑦推薦入試奨学生制度の作成

今年度入試区分別出願者推移数

入試区分/月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
指定校推薦	-	-	-	-	20名	2021年10月19日募集締め切り					20名
学校推薦	-	-	-	-	2名						2名
自己推薦	-	-	-	-	1名						1名

一般/社会人	-	-	-	-	0名		0名
A0入試	-	-	-	19名	0名		19名
合計	0名	名	名	19名	23名		42名

※推薦入試減免制度(指定校推薦、学校推薦、自己推薦にて出願、合格者対象)

10月1日(金)より出願受付開始

取組：オープンキャンパス時にAO入試についてエントリーシート の書き方や面談について説明をしている。

入試区分の違いによる本校独自の奨学金制度について説明をする。

東萌スマイルチャレンジの作文課題を廃止した。

※推薦入試減免制度対象者 23名 出願者数の54.7%

※東萌スマイルチャレンジ奨学金 利用者 11名

結果：O入試から推薦入試減免制度を利用できる指定校推薦へ切り替える受験者がいるなど、徐々に制度の認知度が上がっている。

対策：早期に出願者数を獲得できるAO入試受験者を一定数獲得するため、東萌スマイルチャレンジ奨学金制度のメリットを伝える。

#### Ⅲ ビジョン実現に向けた取り組みと点検

##### 1. 教育の充実

開校以来の「トータルビューティ」を主体とした教育方針から「実践力のある美容師育成へ」と転化し、「笑顔と感動を提供できる美容師育成」をミッションとして掲げ、引き続き入学者全員の美容師国家試験合格を目標とし取り組む。具体的には技術力、知識力、人間力の総合力を「TOHO美容師力」と位置付け、美容師力を強化することで卒業後は即戦力として活躍でき、かつ社会に必要とされる人材育成に努めていく。

##### (1) 実践力のある美容師育成への取り組みの推進

「職業実践専門課程」の認定校として、より一層実践力のある美容師を育成する。

###### ① 企業と連携したサロンワーク授業の実施

専門家によるアップスタイル技術、メイク技術、ネイル技術、ヘアショー、写真撮影等、最新の技術を習得する。

取組：埼玉県内の美容師により結成された美容集団「サイタマニア」によるカラーリング技術、フォトシューティング等の実践的な技術指導を2021年10月26日、11月30日、2022年1月25日、2022年3月1日の4回の授業を行う。

結果：美容現場での最新技術を直接の指導を受けたことにより、美容技術の楽しさ、奥深さ、難しさの体験ができ学生のやる気の向上につながった。次年度も引き続きこの授業を実施していく。

###### ② 美容師として現役で活躍する卒業生を講師として招き授業を実施

卒業後は即戦力として活躍できるよう新入力を高めるとともに、最新の技術を習得する。

取組：美容師として活躍する卒業生により、2021年6月1日、7月13日の2回にて、編み込み技術等の実践的な技術指導を受けた。

結果：卒業生という身近な存在から指導を受けたことにより、将来の姿を描くことができ、目的意識を醸成することができた。次年度も引き続きこの授業を実施していく。

### ③ 各種研修の充実

ア 校外研修では、外部施設を利用し本校学生によるヘアショーを実施することで表現力や創作力、現場力を習得する。

イ 観劇研修により舞台メイク・舞台ヘアなどの創造美を習得する。

ウ 接客マナーやコミュニケーション・ノンバーバルコミュニケーションの研修により、接客を担うものとしてのキャリアアップを図る。

エ 社会人検定の実施

社会人として通用する人材の育成を目的として衛生と接客分野で実施、各分野で評価を行い総合で合否を決定する。

オ インターンシップの実施

1年次および2年次実施

取組：今年度は新型コロナ感染に十分に留意しながら、インターンシップを2学年は2021年5月に、1学年は11月に3日間実施、校外研修を2021年11月19日実施、観劇を2学年は2021年12月15日、1学年は2022年2月25日に実施することができた。社会人検定についても3級～1級全て実施することができた。

結果：授業の一環ではあるが、多くの研修を実施することは、生徒にとって特別なイベントとなり、ひとつひとつの研修の目的の達成により、生徒ひとりひとりが、技術面、精神面の成長することができた。次年度も引き続きこの授業を実施していく。

## (2) 国家試験合格率100%の達成

入学時に行う本校オリジナル基礎学力テスト、美容師国家試験に準じた形で行う実技・学科の校内検定試験の結果を踏まえながら習熟度に応じた特別授業の展開、補習授業の実施により国家試験合格を確実なものにする。

取組：基礎学力テスト、美容師国家試験に準じた形で行い、実技・学科の校内検定試験の結果を踏まえながら習熟度に応じた特別授業の展開、補習授業の実施をした。

結果：第45回美容師国家試験での本校昼間課程の合格率は88.6%であった。35名受験中31名（実技1名、筆記3名が合格点に達成しなかった。）

原因：例年になく国家試験に向けての学習到達度達成への意識を高めることができず検定試験においても多くの生徒が、毎回再々試験にて単位を取得していたため、早い段階より、国家試験前に追い込みをかけて指導していたが、国家試験当日に合格点を取ることができなかった。

対策：次年度に向け国家試験への取り組み方を従来の方法に見直しをかけ、日常の生活習慣指導、筆記試験対策にはWEBによる教材を加え学習達成度到達のための指導を継続する。

(3) 他校との差別化を図るため、特色ある教育の充実

- ① 選択必修課目の「美容総合技術」の中で、生涯健康で美しくいるための基本である栄養学や調理学（調理実習）、体の中から美しく生きるためのヨガを引き続き実施する。
- ② 選択必修課目の「サロンワーク」の中で、美容業界研究授業を実施する。

取組：新型コロナウイルス感染拡大に留意しながら、選択必修課目の「美容総合技術」の中でのヨガを9回、栄養学や調理学（調理実習）について2回行うことができた。「サロンワーク」の中での美容業界研究授業は、多くのゲストスピーカーを交えての授業を予定のとおり実施することができた。

結果：他校にない取り組みのヨガ、調理実習の授業実施は、内面からの美しさの美容を生徒に伝えることができた。また美容業界研究授業では生徒ひとりひとりが自らの夢への思い、夢実現に対しての道筋をしっかりと述べるまで成長することができた。次年度においても実施する。

(4) 地域貢献

- ① 東萌感謝祭に加え地域イベントに積極的に参加する。
  - ア 一日子供商店街に美容ブース出展
  - イ イオンレイクタウンに美容ブース出展
- ② 生徒による地域ボランティア清掃活動
- ③ 生徒による高齢者施設ボランティア活動

取組：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一日子供商店街、地域ボランティア清掃活動以外、全てを中止とした。

結果：新型コロナウイルス感染に十分に留意し実施できた一日子供商店街にて、人への施術の難しさ、楽しさを知る貴重な経験ができ、地域ボランティア清掃活動にて、生徒のココロと街がきれいになった。校舎から出たの教育活動は生徒にとって、新鮮であり、刺激も多く特に美容師に必要な不可欠な周囲への気遣いを学ばせることができるので、次年度も新型コロナウイルス感染状況を鑑みて実施していく。

(5) 充実した学校生活を送るための学生支援

- ① 高等教育に係る修学支援の対象機関の周知および円滑な実務
- ② 日本学生支援機構奨学金、提携教育ローン等の周知徹底を図り、利用ニーズに適切に対応する。
- ③ 就職・進路相談の更なる充実
- ④ カウンセリングルーム利用の周知
- ⑤ 美容師支援プログラムの導入による卒業生へのサポート強化

取組：高等教育に係る修学支援の対象機関として給付奨学金と授業料減免制度の導入

結果：2年生8名、1年生8名計16名が申請。授業料の返戻を実施

原因：新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な負担が大きい。アルバイトも

減少しているため、学生の負担感は増大している。

対策：今後ますます経済的な負担は増加すると思われるため、学生及び保護者に対し、制度の周知と理解を深めていく。

#### (6) 学生募集における定員充足策の推進

入学志願者数の増加に繋がる効果的な広報活動の推進

- ① 志願者獲得に最も効果的とされているオープンキャンパスを更に充実させ、参加者増、参加者からの出願者（エントリー）増に繋げるよう最大限活用する。  
（オープンキャンパスの最も効果的な実施時期、回数、時間帯の設定等及びプログラム内容の充実、教職員に加え学生サポーターの参加促進）
- ② インターネット（SNS等）、DMの有効活用（タイムリーな情報発信）により、学校の認知度アップとオープンキャンパスへの誘導を図る。
- ③ 志願者増に繋がる魅力あふれる体験授業、模擬授業の実施
- ④ 学園祭や商業施設での技能実演による地域社会へのPR活動
- ⑤ メリハリを利かした学校訪問、ガイダンス参加
- ⑥ きめ細かな個別相談と親身な対応
- ⑦ 予約型奨学金制度の有効活用
- ⑧ 学校紹介用の映像を製作し、より効果的に本校の魅力を発信する。

取組：今年度に関してコロナウイルス感染症感染拡大防止のため、やむを得ず縮小、中止にしたものもあるが、推薦入試、AO入試の強化でありその取り組みとして「推薦入試減免制度」、「東萌スマイルチャレンジ奨学金制度」を周知徹底した。

結果：今年度は指定校20名、学校推薦2名、自己推薦1名、AO入試19名となり合計42名の出願となった。

原因：受験者にとって「推薦入試減免制度」は確実に合格を決めたいという安定志向層にとって有効な制度でもあり。早期合格を目指す受験者層にはAO入試が有効であった。コロナウイルス感染症感染が収束しなかった今年度都内への進学をさげ地元での進学を確実に決定させたい受験者が多かった。

対策：今後も引き続き奨学金制度の周知徹底を図り、本人の希望に沿った入試区分を積極的に案内する。

AO入試区分の出願者も対象となる東萌スマイルチャレンジ奨学金制度の周知を徹底し、早期合格者に対しての特典を設定する。

#### (7) 小池学園三校の連携推進

武蔵野星城高等学校と専門学校東萌ビューティーカレッジとの間で、課題・情報の共有化を図り、有意義な高専連携教育を実現する。

取組：2021年4月26日 小池学園を知ろう 開催

2021年5・6・7月 美容講座 3回開催

2021年6・7・9・10月 内部進学説明会 4回開催

結果：武蔵野星城高等学校の生徒6名の入学が決定した。

原因：武蔵野星城高等学校での進路イベントが増えたことにより接触する機会が増え、出願に繋がった。

対策：武蔵野星城高等学校とは今後も継続して、進路行事や、先生との情報共有を行っていく。

(8) 環境の整備

(1) 校内美化への取組

(2) 防火シャッターの修繕

(3) 職員室内PC環境の整備

取組：校内美化へ向け生徒とともに清掃活動を行った。次年度に向け日本一綺麗な美容学校へをスローガンに打ち立てた。

防火シャッターの修繕を行い現行の制度に適合させた。

教員全員でPCを扱えるようにし情報の共有、印刷物を減少させることができた。

(9) 退学者の防止

ミスマッチを防ぐためオープンキャンパスでの本校の特色、授業内容、年間計画等、本校に入学後の学生生活を丁寧に説明し、さらには入学前教育を充実することで退学の防止を図る。入学後の担任による面談、保護者への連絡等の対策もきめ細かに実施していく。

取組：オープンキャンパスにて入学後の学校生活説明、生徒スタッフとのコミュニケーション、入学前授業（プレカレッジ）の時間を作り、より本校に入学後の学生生活がイメージできるようにした。入学後も担任による面談、保護者への連絡等の対策もきめ細かに実施した。

結果

2021 年度

学 科	在籍者数	1 学年			2 学年			合計			退学率
		退学	除籍	計	退学	除籍	計	退学	除籍	計 (b)	
美容科	(a)									(b)	(b/a)
	76	2	0	2	2	0	2	4	0	4	5.2%

原因：退学者4名のうち2名が進路変更のため退学、2名のうち1名が出席数の不足により単位取得不可、1名が成績不振により単位取得不可となり、担任、校長と面談を行い出席数の不足の生徒は通信課程への転入、成績不振の生徒は退学となった。退学となった生徒本人との面談及び指導を適宜行っていたが改善がみられなかった。

対策：これまでの指導法を継続するとともに、生徒一人一人の目標への検証を細かく行っていく。担任及び教員全体で生徒の学校生活のサポート、学習到達度の確認(可視化)を行いヒアリング、アドバイスを適宜行う。

Ⅳ 財務状況

学生生徒等納付金は増加、2022 年度も在学生の増加により同様の収入を見込む。人件費、

管理経費を削減、教育研究経費は増加に転じた。結果、経常収支差額及び基本金組入前当年度収支差額の大幅な増加に転じた。

	2020年度	2021年度	増減	(単位：千円)
学生生徒等納付金	45,150	53,900	8,750	
人件費	30,066	29,091	△ 975	
教育研究経費	34,235	38,386	4,151	
管理経費	10,805	8,677	△2,128	
経常収支差額	4,671	15,124	10,453	
基本金組入前当年度収支差額	4,671	15,124	10,453	

## V その他

### (1) 本校オリジナル社会人検定の実施

社会人として通用する人材の育成を目的として、衛生と接客の分野で実施している各分野で評価を行い、総合で合否を決めている。

#### ① 1年生対象

2021年 4月23日(金)：3級検定(会話マナー)

2021年 10月29日(金)：2級検定(電話アポイントメント・訪問マナー)

#### ② 2年生対象

2021年 5月25日(火)：1級検定(プレゼンテーション)

### (2) 各種資格取得の実績

資格・免許等の名称	受験者数	合格者数	合格率
<b>【国家資格】</b>			
美容師国家試験 昼間課程 (令和3.3.31発表)	35	31	88.6%
美容師国家試験 通信課程 (令和2.9.30発表)	17	14	82.4%
<b>【その他の資格・免許等】</b>			
日本エステティック協会 認定フェイシャル・ボディエステティシャン	10	9	90.0%
日本メイクアップ連盟メイクアップ検定3級	39	37	94.8%
日本メイクアップ連盟メイクアップ検定2級	6	5	83.3%

### (3) 就職指導

#### ① 方針

- ア、指針 個別適性を見極め、早期内定を目指す。
- イ、指導方針 就職情報を提供し適切な進路指導に努める。  
パソコンによる求人確認・エントリーを実施。  
サロン見学を積極的に行うよう指導する。  
サロン訪問時のマナーを徹底させる。

担任との連携をはかり、生徒個人把握に努め、きめ細かい指導を行う。

ウ、サロン訪問 採用状況及びサロン方針を把握する。  
本校への理解と認知に努める。

② 進路指導 2021 年度年間実績

ア、2年生 4月 進路相談開始、求人情報公開  
IMS 研修 <一恋>  
サロン特別講義 「就職活動に向けて」 <(株)エル>  
5月 インターンシップ  
6月 サロン就職説明会 (放課後随時実施)  
7月 サロン就職説明会 (放課後随時実施)  
10月 就職未決定者に対する個別指導 (随時実施)  
イ、1年生 11月 インターンシップ  
12月 進路希望調査の実施  
2月 就職レクチャー <(株)トーコン>  
校内就職ガイダンス 2回実施 計22社参加  
3月 履歴書及び面接指導

③ 2021 年度昼間課程卒業生及び進路状況

	卒業生数	進路状況			
		就職	県内		その他
			県内	県外	
男	13	10	10	0	3
女	22	22	12	10	0
合計	35	32	22	10	3

### 3. 財務の概要

#### I 決算の概要

##### ① 貸借対照表関係

##### ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
固定資産	2,102,252	2,089,795	2,032,621	1,862,553	1,797,164
有形固定資産	2,017,662	2,024,408	1,966,188	1,794,724	1,731,601
特定資産	41,779	20,104	21,928	24,264	22,964
その他の固定資産	42,810	45,282	44,504	43,564	42,599
流動資産	383,498	311,687	301,603	502,855	680,974
資産の部合計	2,485,751	2,401,483	2,334,224	2,365,408	2,478,138
固定負債	445,931	394,092	373,912	354,244	330,940
流動負債	255,116	294,883	268,635	278,066	329,790
負債の部合計	701,048	688,976	642,548	632,311	660,730
基本金	3,020,820	3,072,002	3,103,551	3,029,918	3,059,341
第1号基本金	2,974,820	3,026,002	3,057,551	2,983,918	3,013,341
第4号基本金	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000
繰越収支差額	△ 1,236,117	△ 1,359,495	△ 1,411,875	△ 1,296,821	△ 1,241,933
純資産の部合計	1,784,702	1,712,507	1,691,676	1,733,097	1,817,408
負債及び純資産の部合計	2,485,751	2,401,483	2,334,224	2,365,408	2,478,138

##### イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

比率名	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
運用資産 余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	△ 9.0	△ 26.2	△ 21.1	22.4	58.0
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	150.3	105.7	112.3	180.8	206.5
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	28.2	28.7	27.5	26.7	26.7
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	192.1	145.1	146.2	235.6	270.0
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	88.7	88.4	89.3	89.6	90.2
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	28.8	20.6	19.9	32.4	41.6

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
学生生徒等納付金収入	463,879	419,383	421,101	418,384	451,700
手数料収入	17,244	17,219	19,422	19,298	19,820
寄付金収入	321	120	0	0	330
補助金収入	69,428	73,591	54,573	67,239	68,941
資産売却収入	0	0	0	127,000	0
付随事業・収益事業収入	31,546	35,616	33,622	33,265	42,174
受取利息・配当金収入	698	685	654	632	606
雑収入	5,695	22,719	12,175	6,032	15,530
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	185,180	187,697	186,737	205,289	243,977
その他の収入	364,944	297,691	251,735	215,379	238,863
資金収入調整勘定	△ 237,428	△ 222,847	△ 214,032	△ 204,629	△ 224,684
前年度繰越支払資金	349,780	355,647	272,397	273,051	482,396
収入の部合計	1,251,290	1,187,523	1,038,388	1,160,943	1,339,653

支出の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
人件費支出	374,883	420,350	366,184	330,358	318,739
教育研究経費支出	93,032	102,548	60,083	72,769	80,895
管理経費支出	58,752	57,998	52,351	45,734	40,157
借入金等利息支出	2,755	2,684	2,517	2,333	2,188
借入金等返済支出	14,124	14,124	30,164	22,004	22,004
施設関係支出	88,542	77,397	0	166	1,650
設備関係支出	6,600	5,809	19,775	4,790	8,658
資産運用支出	3,106	5,768	6,018	5,864	9,363
その他の支出	290,638	287,040	270,801	226,380	240,411
資金支出調整勘定	△ 36,792	△ 58,596	△ 42,559	△ 31,853	△ 41,079
翌年度繰越支払資金	355,647	272,397	273,051	482,395	656,666
支出の部合計	1,251,290	1,187,523	1,038,388	1,160,943	1,339,653

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	580,088	557,381	539,111	542,840	597,014
教育活動資金支出計	526,668	580,897	478,619	448,862	439,792
差引	53,420	△ 23,515	60,491	93,978	157,222
調整勘定等	△ 42,118	15,816	△ 16,679	16,100	44,907
教育活動資金収支差額	11,301	△ 7,698	43,811	110,078	202,129
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	8,027	11,268	1,785	128,379	1,482
施設整備等活動資金支出計	95,142	83,207	19,775	4,956	10,308
差引	△ 87,115	△ 71,939	△ 17,990	123,422	△ 8,827
調整勘定等	99,832	△ 3,241	9,483	406	△ 103
施設整備等活動資金収支差額	12,716	△ 75,180	△ 8,507	123,828	△ 8,930
小計(教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)	24,018	△ 82,879	35,304	233,906	193,200
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	234,808	272,548	216,441	190,591	224,336
その他の活動資金支出計	252,960	272,918	251,091	215,155	243,266
差引	△ 18,151	△ 370	△ 34,649	△ 24,564	△ 18,930
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 18,151	△ 370	△ 34,649	△ 24,564	△ 18,930
支払資金の増減額(小計 + その他の活動資金収支差額)	5,866	△ 83,250	654	209,342	174,270
前年度繰越支払資金	349,780	355,647	272,397	273,051	482,395
翌年度繰越支払資金	355,647	272,397	273,050	482,394	656,666

ウ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

比率名	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	2.0	△ 1.4	8.1	20.3	33.9

③ 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	463,879	419,383	421,101	418,384	451,700
	手数料	17,244	17,219	19,422	19,298	19,820
	寄付金	349	146	339	28,808	22,722
	経常費等補助金	61,401	62,323	52,788	65,860	67,459
	付随事業収入	31,546	35,616	33,622	33,265	42,174
	雑収入	5,695	22,719	12,175	6,032	15,530
	教育活動収入計	580,117	557,408	539,450	571,648	619,406
	事業活動支出の部					
	人件費	377,099	398,675	368,008	332,694	317,439
	教育研究経費	161,048	177,968	135,873	177,519	174,460
	管理経費	61,439	60,429	55,260	48,581	42,856
	徴収不能額等	2,649	1,526	984	135	240
	教育活動支出計	602,236	638,600	560,127	558,930	534,995
	教育活動収支差額	△ 22,119	△ 81,192	△ 20,677	12,718	84,411
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	698	685	654	632	605
	教育活動外収入計	698	685	654	632	605
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	2,755	2,684	2,517	2,333	2,188
	教育活動外支出計	2,755	2,684	2,517	2,333	2,188
	教育活動外収支差額	△ 2,056	△ 1,999	△ 1,863	△ 1,700	△ 1,582
経常収支差額	△ 24,175	△ 83,192	△ 22,540	11,017	82,828	

	科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0	29,238	0
	その他の特別収入	8,027	11,268	1,785	1,379	1,482
	特別収入計	8,027	11,268	1,785	30,617	1,482
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	4,204	271	75	213	0
	特別支出計	4,204	271	75	213	0
	特別収支差額	3,822	10,995	1,708	30,403	1,482
	基本金組入前当年度収支差額	△ 20,352	△ 72,196	△ 20,831	41,421	84,310
	基本金組入額合計	△ 8,000	△ 51,181	△ 31,549	0	△ 29,422
当年度収支差額	△ 28,352	△ 123,378	△ 52,381	41,421	54,888	
前年度繰越収支差額	△ 1,223,711	△ 1,236,117	△ 1,359,495	△ 1,411,875	△ 1,296,820	
基本金取崩額	15,947	0	0	73,633	0	
翌年度繰越収支差額	△ 1,236,116	△ 1,359,496	△ 1,411,875	△ 1,296,820	△ 1,241,932	

(参考)

事業活動収入計	588,843	569,360	541,890	602,898	621,494
事業活動支出計	609,196	641,557	562,720	561,477	537,183

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

比率名	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	64.9	71.4	68.1	58.1	51.2
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	27.7	31.9	25.2	31.0	28.1
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	10.6	10.8	10.2	8.5	6.9
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△ 3.5	△ 12.7	△ 3.8	6.9	13.7
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	79.9	75.2	77.9	73.1	72.9
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△ 4.2	△ 14.9	△ 4.2	1.9	13.5

## II その他

①有価証券の状況 該当なし

②借入金の状況

借入先	借入総額	期末残高	利率	最終返済期限
日本私立学校振興 共済事業団	306,000,000 円	255,000,000 円	0.600%	2036年9月15日
埼玉りそな銀行	100,000,000 円	74,980,000 円	0.790%	2037年3月30日

③学校債の状況 該当なし

④寄付金の状況

特別寄付金 該当なし

一般寄付金

高等学校 130,000 円 専門学校 200,000 円

現物寄付金

短期大学 10,446,990 円 専門学校 11,945,034 円

⑤補助金の状況

埼玉東萌短期大学

私立大学等経常費補助金 34,417,000 円

授業料等減免費交付金 12,690,300 円

越谷市私立学校等結核予防費補助金 26,000 円

武蔵野星城高等学校

私立大学等経常費補助金（私立高等学校等経常費補助） 6,156,000 円

私立学校施設高度化推進事業費補助金 263,000 円

私立学校情報機器整備費補助金（端末整備事業） 1,200,000 円

私立学校情報機器整備費補助金（通信機器整備支援） 19,000 円

学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策支援） 450,000 円

学校保健特別対策事業費補助金（学校教育活動継続支援） 50,000 円

両立支援等助成金（出生時両立支援コース（育児休業）） 760,000 円

越谷市私立学校等結核予防費補助金 49,000 円

専門学校東萌ビューティーカレッジ

私立学校運営費補助金 2,050,000 円

授業料等減免費交付金 5,334,000 円

越谷市私立学校等結核予防費補助金 12,000 円

⑥収益事業の状況 該当なし

⑦関連当事者との取引の状況

ア) 関連当事者 該当なし

イ) 出資会社 該当なし

⑧学校法人間財務取引 該当なし

### Ⅲ 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

#### ①経営状況の分析（決算の概要）

##### i. 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産・負債・純資産（基本金及び繰越収支差額）を把握するもので、学校法人の財政状態を表している。

2021年度末の資産の部合計は、前年度末と比較して流動資産が17,800万円増加し、資産合計で11,200万円増加したことにより、資産の部合計は247,800万円となった。

負債の部合計は、前年度末と比較して、借入金の返済等により固定負債が2,300万円減少、未払金、前受金等の流動負債は5,100万円増加し、負債の部合計は66,000万円となった。

これらの結果、総資産から総負債を差し引いた純資産の部合計は181,800万円となり、前年度末と比較して8,500万円増加した。

##### ii. 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入・支出の内容を明らかにし、かつ支払資金（現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金）の収入・支出の顛末を明らかにするもので、支払資金の年度初と年度末残高を明らかにしている。2021年度資金収支計算書の概要は、次の通りである。

翌年度繰越支払資金は、前年度繰越支払資金48,200万円から17,400万円増加して65,600万円となった。これは、学生生徒数の増加に伴う納付金等収入の増加、人件費、管理経費の削減等による支出の減少が主な要因である。

##### iii. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容と基本金組入後の均衡の状態を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であることを示すもので、いわば企業会計の損益計算書にあたるものである。

事業活動収入計は62,200万円となり、前年度比で2,000万円増加した。前年度比増の主因は、学生生徒納付金が3,300万円増加、経常費等補助金が300万円増加、付随事業収入が900万円増加したためである。

事業活動支出計は53,700万円となり、前年度比では2,400万円の減少となった。この要因は、前年度比で人件費が3,500万円の減少、教育研究経費が300万円、管理経費が700万円減少したためである。

これらの結果、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した経常収支差額は、大幅に増加し8,300万円となった。また、経常収支差額に特別収支差額を加えた基本金組入前当年度収支差額は8,500万円の収入超過（企業会計でいう黒字）となり、当年度収支差額は5,500万円、翌年度繰越収支差額は△124,100万円となった。

#### ②経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

経営改善計画の着実な実施に向けて、組織的なPDCAサイクルを確立し学園の最重要課題として全学的に取り組む中で、いくつかの課題について成果を上げることができた。

特に大きな成果となったものは以下のとおりである。

- ・運用資産の増加

2020年度において運用資産が外部負債を上回ることが達成でき、2021年度もこれを継続しながら、学生生徒納付金の増加、経費支出の削減による現金預金の増加に伴い、運用資産が増加する結果となった。次年度以降も継続して運用資産を増加させ、外部負債は着実に返済していくことでこの状態を維持する。

- ・学校法人全体及び設置校三校の経常収支差額が黒字（プラス）となる

学校法人全体の経常収支差額が2020年度において赤字（マイナス）の状態から黒字（プラス）に転換し、2021年度も経営改善計画に基づいた方策により黒字（プラス）を継続することができた。そして、短期大学についてはこれまでの過去5年において経常収支差額が赤字（マイナス）であったが、人件費の大幅な削減、広報費等の見直しによる経費支出の適正化などの方策により黒字（プラス）となった。高等学校、専門学校が黒字（プラス）を継続したことにより、学校法人全体及び設置校三校の経常収支差額が黒字化するという目標が、当初の予定より一年早く達成することができた。この結果を踏まえ、次年度以降も効果について検証しながら、黒字を継続するべく取り組んでいく。

財務比率の比較では、人件費比率は51.2%と60%を下回り、前年度より7ポイント減少した。管理経費についても、6.9%と10%を下回り、前年度より減少する結果となった。

また、入学定員の安定確保については、2022年度生募集では短期大学入学者が85名（入学定員80名）、高等学校入学者が160名（入学定員140名）、専門学校入学者が40名（入学定員40名）となり、全ての学校において入学定員充足の目標を達成することとなった。これを継続できるよう、引き続き入学定員確保に向けて受験生、保護者等に有用な広報活動を継続して行い、収入の安定、増収を図る。

科学研究費等の競争的外部資金の獲得については目標を達成できなかったが、目標が達成できるよう周知していく。

次年度以降も、入学定員の安定確保、外部資金の獲得等による収入の安定化及び人件費、経費支出の適正化等により財政基盤を強化し、必要に応じて施設設備への投資を行いながら、継続して経常収支等財務状況の改善を図ることとする。